

# 研究活動報告

## Report on Research Activities

(2010年1月1日～2010年12月31日)

ここに収録された題目及びその概要は、学内研究者の発表したもののうち、2010年1月1日より2010年12月31日迄の期間に刊行されたものに限り、論文の性質、発表機関などには一切制限を加えず、すべて規定の用紙で提供された原稿のまま掲載した。

### 〔I. スポーツ科学科〕

#### — 1) スポーツ医科学コース—

#### 【教授】

#### 形本 静夫

##### 1 原著論文 (査読付き)

- ① 雨宮有子, 中嶋 滋, 加部 勇, 池田啓一, 信太直己, 山倉文幸, 河合祥雄, 形本静夫, 岩井秀明. 血中ヒスチジン量と動脈硬化危険因子との相関関係. 日本未病システム学会雑誌 16(1): 17-27, 2010. 1
- ② Haruyama Y, Muto T, Matsuzuki H, Ito A, Tomita S, Muto S, Haratani T, Seo A, Ayabe M, Katamoto S. Evaluation of subjective thermal strain in different kitchen working environments using subjective judgment scales. *Industrial Health* 48(2): 135-144, 2010. 4
- ③ 杉山康司, 富田寿人, 形本静夫. 階段上り下りにおける上りステップ様式の違いが運動強度に及ぼす影響. *臨床スポーツ医学* 27: 443-448, 2010. 4
- ④ Ichinoseki-Sekine N, Naito H, Harima H, Nakagawa K, Katamoto S. Effects of home-based resistance training among elderly Japanese women with different ACTN3 (R577X) genotypes. *順天堂スポーツ健康科学研究* 1(4): 486-493, 2010. 4
- ⑤ 谷本道哉, 高田佑輔, 栗原俊之, 村出真一郎, 柳谷登志雄, 形本静夫. フリーローラーと固定ローラーにおける自転車運動の動作および筋活動の比較. *近畿大学生物理工学部紀要* 26: 638-78, 2010. 9

##### 2 翻訳

- ① 形本静夫訳. 自転車競技の生理学. スポーツ運動科学—バイオメカニクスと生理学—, 総監訳 宮永 豊, 660-671, 東京: 西村書店, 2010. 10 Burke ER. Physiology of Competitive Cycling. *Exercise and Sports Science*. In Gareett

Jr WE, Kirkendall DT eds, 1st ed, L Williams & W/W Kluwer Health, 2000.

##### 3 その他

- ① 形本静夫. 2009年度クラブ活動指導報告—自転車競技部における指導について. *順天堂スポーツ健康科学研究* 1: Suppl. 106-108, 2010. 10

##### 4 学会発表等

- 1) シンポジウム
  - ① 形本静夫. 低酸素環境を利用したスプリントトレーニングについて. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 2010. 9
- 2) 国際学会
  - ① Kakigi R, Naito H, Ichinoseki-Sekine N, Saga N, Fukai Y, Katamoto S. The effect of a carbohydrate supplement with peptide provided after endurance exercise on mTOR signaling in skeletal muscle. 19th International Conference on Sport Sciences For Students, Budapest, Hungary, 2010. 4
  - ② Ichinoseki-Sekine N, Harima H, Nakagawa K, Naito H, Katamoto S. Effects of home-based fall prevention training in Japanese elderly women with different ACTN3 (R577X) genotypes. The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 2010, *Med Sci Sports Exerc.* 42: 5 supplement, S425, 2010. 6
  - ③ Saga N, Naito H, Katamoto S. Effects of 4-week supramaximal exercise training under normobaric hypoxia on anaerobic energy release in cyclists. The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 2010, *Med Sci Sports Exerc.* 42: 5 supplement, S330, 2010. 6
  - ④ Fukai Y, Naito Y, Kakigi R, Yoshihara T, Ichinoseki-Sekine N, Katamoto S. Effect of intermittent heat stress after

muscle damage on signaling pathway in rat skeletal muscle. The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 2010, Med Sci Sports Exerc. 42: 5 supplement, S266, 2010. 6

⑤ Kakigi R, Naito H, Ogura Y, Fukai Y, Yoshihara T, Ichinoseki-Sekine N, Katamoto S. Different response of alpha-actinin isoforms to muscle injury in rat skeletal muscle. The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 2010, Med Sci Sports Exerc. 42: 5 supplement, S5, 2010. 6

⑥ Saga N, Katamoto S, Naito H, Kai F, Sakuraba K. Effect of heat treatment on muscle damage and muscle soreness of older and young men following eccentric exercise. The 15th Annual Congress of the European College of Sport Science in Antalya /Turkey, June. 2010. 6

### 3) 国内学会

① 小川敦史, 内藤久士, 形本静夫. スタビライゼーション能力が投球の正確性および球速に及ぼす影響. 第17回日本健康体力栄養学会, 銚子, 2010. 3

② 一瀬暢言, 内藤久士, 形本静夫. 体幹筋力と動的バランス能力の関連性に関する研究. 第17回日本健康体力栄養学会, 銚子, 2010. 3

③ 木口裕貴, 内藤久士, 形本静夫. 前日のコンセントリック筋活動が遅発性筋痛の抑制に及ぼす影響. 第17回日本健康体力栄養学会, 銚子, 2010. 3

④ 制野亜美, 形本静夫, 内藤久士. ウォーキング方法の違いがエネルギー消費量に及ぼす影響. 第17回日本健康体力栄養学会, 銚子, 2010. 3

⑤ 吉原利典, 内藤久士, 柿木 亮, 深井勇人, 関根紀子, 杉浦崇夫, 形本静夫. 一過性の局所的温熱負荷はラット骨格筋におけるタンパク質合成シグナル伝達経路を活性化する. 第17回日本健康体力栄養学会, 銚子, 2010. 3

⑥ 柿木 亮, 内藤久士, 小倉裕司, 深井勇人, 吉原利典, 形本静夫. ラット損傷筋における $\alpha$ アクチニンアイソフォーム発現. 第18回日本運動生理学会大会, 鹿児島, 2010. 8

⑦ 佐賀典生, 内藤久士, 形本静夫. 温熱処置と伸張性運動の反復がホルモン応答に及ぼす影響. 第18回日本運動生理学会大会, 鹿児島, 2010. 8

⑧ 谷本道哉, 高田佑輔, 栗原俊之, 村出真一郎, 柳谷登志雄, 形本静夫. フリーローラーと固定ローラーにおける自転車運動の動作および筋活動の比較. 第21回日本バイオメカニクス学会大会, 東京, 2010. 8

⑨ 佐賀典生, 内藤久士, 形本静夫. 温熱処置と伸張性運動の反復が筋損傷および筋痛に及ぼす影響. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 2010. 9 体力科学 59(6): 892, 2010. 12

⑩ 関根紀子, 内藤久士, 張間裕子, 中川 香, 形本静夫. ACTN3 遺伝子多型と高齢日本人女性のトレーニング効果. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 2010. 9 体力科学 59(6): 891, 2010. 12

⑪ ソーネステ ハイキ, 谷本道哉, 柿木 亮, 形本静夫. 筋力トレーニングにおけるセット数が筋力及び筋肥大に及ぼす影響. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 2010. 9 体力科学 59(6): 889, 2010. 12

⑫ 吉原利典, 内藤久士, 柿木 亮, 深井勇人, 関根紀子, 杉浦崇夫, 形本静夫. 一過性の局所的温熱負荷がラット骨格筋におけるオートファジーの調節に及ぼす影響. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 2010. 9 体力科学 59(6): 631, 2010. 12

⑬ 深井勇人, 内藤久士, 柿木亮, 吉原利典, 関根紀子, 形本静夫. 筋損傷後の温熱負荷がラット骨格筋のAkt/mTOR 経路に及ぼす影響. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 2010. 9 体力科学 59(6): 603, 2010. 12

⑭ 柿木 亮, 内藤久士, 小林裕幸, 佐賀典生, 関根紀子, 小倉裕司, 吉原利典, 形本静夫. 温熱負荷を伴うレジスタンス運動がヒト骨格筋の mTOR シグナル伝達に及ぼす影響. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 2010. 9 体力科学 59(6): 702, 2010. 12

竹内汐里, 形本静夫, 内藤久士. トライアスロン競技におけるスイム前の水分摂取が運動パフォーマンスに及ぼす影響. 第53回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟)2010年2月

関 直也, 形本静夫, 内藤久士. サッカーにおけるアクアコンディショニングが疲労回復に及ぼす影響. 第53回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟)2010年2月

山口貴大, 形本静夫, 内藤久士. 各種ハンドパドル使用による水泳時筋活動の変化. 第53回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟)2010年2月

米倉拓也, 形本静夫, 内藤久士. 陸上競技中距離選手の無酸素的能力を高めるための低酸素条件の検討. 第53回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟)2010年2月

丸田果奈, 内藤久士, 形本静夫. レモンの香り運動パフォーマンスに及ぼす影響. 第53回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟) 2010年2月

齋藤勇紀, 形本静夫, 内藤久士. トライアスロンの競技的特性の研究〜バイク後のランニングにおける生理学的反応から〜. 第53回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟) 2010年2月

## 河合 祥雄

### 著書

河合祥雄: サルコイドーシス, 川名正敏, 北風政史, 小室一成, 山崎 努, 山下武志編「循環器病学 基礎と臨床」, 西村書店, 東京, 平成22年, 1202-1208

### 原著

Onishi T, Shimada K, Sato H, Seki E, Watanabe Y, Sunayama S, Ohmura H, Masaki Y, Nishitani M, Fukao K, Kume A, Sumide T, Mokuno H, Naito H, Kawai S, Daida H.: Effects of phase III cardiac rehabilitation on mortality and cardiovascular events in elderly patients with stable coronary artery disease. *Circ J.* 74: 709-714; 2010.

Takato T, Ashida T, Seko Y, Fujii J, Kawai S.: Ventricular tachyarrhythmia-related basal cardiomyopathy in rabbits with vagal stimulation—A novel experimental model for inverted Takotsubo-like cardiomyopathy. *J Cardiol.* 2010 Jul; 56(1): 85-90. Epub 2010 Apr 20.

雨宮有子, 永島 滋, 加部 勇, 池田啓一, 信太直己, 山倉文幸, 河合祥雄, 形本静夫, 岩井秀明: 血中ヒスチジン量と動脈硬化危険因子との相関関係. *日本未病システム学会雑誌* 16(1): 17-27, 2010.

石原智美 河合祥雄 鈴木大地 鈴木勝彦 高田和子: 第12回, 13回館山オープンウォータースイミングレースにおける体温と体組成, 食事調査. *水と健康医学研究会誌.* 13(1) 5-11, 2010.

### 報告書

Someya Y, Kawai S, Marui E, Takata K: Influence of exercise and eating habits during students age on life-related diseases in middle age, based on the male alumni of Juntendo

University. 順天堂スポーツ健康科学研究 1巻3号(通巻15号) 421-425, 2010).

高橋祐加, 河合祥雄: 順天堂大学スポーツ健康学部生の飲酒意識調査(1): 飲酒状況と飲酒の強要. 順天堂スポーツ健康科学研究 2巻3号(通巻57号) 99-105, (2010).

高橋祐加, 河合祥雄: 順天堂大学スポーツ健康学部生の飲酒意識調査(2): アルコールへの意識, 飲酒教育のあり方, アルコールと運動. 順天堂スポーツ健康科学研究 2巻3号(通巻57号) 106-112, (2010).

### 総説

河合祥雄: たこつぼ心筋症(たこつぼ心筋障害). *総合臨床* 59(8): 1803-1808, 2010.

河合祥雄: 保健教育 教員養成の立場から. *保健の科学* 52(10): 656-659. 2010.

### 抄録

久山能成, 河合祥雄: 身体活動(含む運動, 生活活動)の推定エネルギー消費量とウェルサポートによるカロリー消費量との差異. 第6回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム「トップアスリートの育成」報告書, 2010. 1. 16, 67頁.

宮本佳奈子, 河合祥雄: 体育系学部1年生のドーピング意識とスポーツ倫理に重点を置いたアンチ・ドーピング教育による変容. 第6回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム「トップアスリートの育成」報告書, 2010. 1. 16, 70頁.

高橋祐加, 河合祥雄: 大学生の飲酒意識調査および主観的アルコール濃度判断に関する検討. 第6回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム「トップアスリートの育成」報告書, 2010. 1. 16, 68頁

田中雅輝, 本郷妙子, 河合祥雄: ニオイ環境が脳酸素動態に及ぼす影響とストループ課題成績との関連性について. 第6回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム「トップアスリートの育成」報告書, 2010. 1. 16, 68頁.

保志貴之, 河合祥雄, 仲田篤孝, 澤木啓祐, 仲村 明: 陸上長距離選手における暑熱環境下運動時と冷涼環境下運

動時での規定飲水による発汗量, 心拍数の比較. 第6回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム「トップアスリートの育成」報告書, 2010. 1. 16, 70頁.

名倉悠貴, 河合祥雄: 体育系男子大学生の下肢筋群筋厚左右差と100 m 走能力. 第6回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム「トップアスリートの育成」報告書, 2010. 1. 16, 69頁.

鈴木雄介, 河合祥雄, 渡辺真樹: 事例研究 競歩に呼吸筋トレーニングは有効か(呼吸筋トレーニングと走パフォーマンス(競歩に呼吸筋トレーニングは有効か)). 第6回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム「トップアスリートの育成」報告書, 2010. 1. 16, 69頁.

#### 学会発表

S, Kawai: Clinicopathology of Takotsubo (Ampulla) Cardiomyopathy in Japan. 5th Asian Pacific Congress of Heart Failure (第5回アジア太平洋心不全コンgres), 釜山, 韓国. 2010. 4. 17

山本正彦, 河合祥雄, 染谷由希, 玉井清志: 過換気による呼吸筋持久力トレーニングが安静時最大換気量(MVV)の呼吸パターンに及ぼす影響. 日本体力医学会 第66回大会 千葉, 2010. 9. 1

大西 朋, 島田和典, 佐藤浩之, 渡辺嘉郎, 大村寛敏, 正木克由規, 西谷美帆, 深尾宏祐, 久米淳美, 角出貴宏, 柰野浩司, 内藤久土河合祥雄, 代田浩之: 高齢冠動脈疾患患者における維持期心臓リハビリテーションの予後改善効果. 第58回日本心臓病学会2010, 9月17日, (日本心臓病学会誌2 (Supplement I) 217, 2010.)

高遠哲也, 芦田映直, 松崎 弦, 世古義規, 藤井 潤, 河合祥雄: 頸部迷走神経刺激家兎にみられる心室性不整脈発生と心基部, 僧帽弁, 乳頭筋病変の形成: 求心性迷走神経の役割. 第58回日本心臓病学会2010, 9月17日, (日本心臓病学会誌2 (Supplement I) : 252, 2010.)

染谷由希, 河合祥雄, 高田和子: 出身学部による生活習慣病既往の比較. 第58回日本心臓病学会2010, 9月19日, (日本心臓病学会誌2 (Supplement I) : 317, 2010)

藤田淑香, 河合祥雄, 染谷由希: 球技系運動部大学生の

運動経験と中高年期における健康状態との関連. 第58回日本心臓病学会2010, 9月19日, (日本心臓病学会誌2 (Supplement I) : 489, 2010.)

染谷由希, 河合祥雄, 藤田淑香: 出身学部による生活習慣病既往の比較. 平成21年度スポーツロジセンター・スポーツ健康医科学研究所合同研究報告会 2010. 4. 23 本郷キャンパス. 10号館1階

河合祥雄, 石原智美, 鈴木大地, 鈴木勝彦, 高田和子: 第12回, 13回館山オープンウォータースイミングレースにおける体温と体組成, 食事調査の報告. 第12回 水と健康医学研究会, 如水会館, 東京, 座長: 吉川茂樹. 2010. 6. 12.

雨宮有子, 中島 滋, 池田啓一, 加部 勇, 信太直己, 高子真吾, 山倉文幸, 河合祥雄, 形本静夫, 岩井秀明: 血中ヒスチジン量と動脈硬化危険因子との相関関係におけるレプチンの影響. 第80回日本衛生学会, 宮城 2010. 5. 1

#### その他

河合祥雄: 静は薬か? … もっと筋肉トレーニングを… 千葉県教育庁教育振興部体育課「ニューズレター千葉」48巻, 2-3. (2010)

河合祥雄: 海で突然死しないためのダイバーの必修医学(循環器系). Alert Diver 44 (Spring): 2-7, 2010.

河合祥雄: たこつぼ心筋症の病態生理. 日本医事新報 4493号76-77, 2010.

#### 講演

河合祥雄: スポーツ指導者に必要な医学的知識 I, 平成22年度千葉県社会体育公認指導者等養成講習会, 千葉県総合スポーツセンター, スポーツ科学センター, 千葉県教育委員会, 2010. 6. 19.

河合祥雄: 運動処方概論. 日医認定健康スポーツ医学講習会 埼玉県医師会 地域医療課 埼玉県医師会館5階大会場, 2010. 11. 21.

河合祥雄: 高血圧症を合併する場合の運動プログラム(運動プログラムの管理). 平成22年度健康運動指導士養成講習会, (財)健康・体力づくり事業団, 健康運動者養成事

業, 戸山サンライズ, 新宿, 2010. 11. 23.

## 桜庭 景植

### 【原著】

Kubota A, Sakuraba K, Koh S, Ogura Y, Tamura Y: Blood flow restriction by low compressive force prevents disuse muscular weakness. *J Sci Med Sport*. 2010 Oct 27, [Epub ahead of print]

桜庭景植; アスリートの疲労骨折—なぜ発症するのか—疲労骨折と骨代謝. *臨床スポーツ医学*, 27(4): 375-382, 2010

桜庭景植; 膝関節に対する運動療法・筋力トレーニングの up to date—血流制限下筋力訓練を中心に— *Jpn J Rehabil Med* 47(5): 276-282, 2010

桜庭景植; 続発性骨粗鬆症 UPDATE・Topics マラソン・長距離走と疲労骨折・骨代謝.

Stress fracture and bone metabolism marker in long distance runners *CLINICAL CALCIUM*, 20(5), 2010

中島幸則, 桜庭景植, 笠井美里, 竹腰英樹, 金 玉蓮, 加我君考; 成人の先天性聴覚障害者の平衡機能と視機能の評価.

Evaluation of vestibular function and visual function in adults with congenital deafness

*日本臨床スポーツ医学会誌*, 18(2): 297-304, 2010

若松健太, 越智英輔, 廣瀬立朗, 桜庭景植, 中里浩一, 平沼憲治; 大学女子サッカー選手におけるハムストリング肉ばなれの発生要因に関する研究.

Risk factors of hamstring muscle strain injury in female university

*日本臨床スポーツ医学会誌*, 18(2): 314-319, 2010

岡崎昌典, 桜庭景植; 足関節捻挫後の主観的足部不安定感と下肢動的アライメントとの関係; 高校生バレーボール選手を対象として.

*順天堂スポーツ健康科学研究*, 56(2); 55-64, 2010

徳本一善, 鯉川なつえ, 仲村 明, 平尾朋美, 桜庭景植, 澤木啓祐; 長距離ランナーにおけるアクアコンディショニングの効果.

*陸上競技研究*80号; 20-28, 2010

### 【著書】

桜庭景植; アスリートのためのコンディショニング. 日本陸上競技連盟医事委員会編集, ベースボールマガジン社, 分担執筆; 下腿部の傷害, P79-83, 2010

### 【総説】

桜庭景植; ウィンタースポーツの外傷と障害.

*医道の日本*, 69(12); 26-32, 2010

丸山麻子, 桜庭景植; 特集; 疲れとたるさ. 急性疲労回復のための知恵—スポーツ選手の疲労回復—.

*JIM (Journal of Integrated Medicine)*, 20(11): 847-849, 2010

桜庭景植; 長距離ランナーの疲労骨折.

*マルホ整形外科セミナー*, 第200集, p 34-37, 2010

### 【国外発表】

Kubota A, Sakuraba K, Ogura Y, Koh S; The Effect of Blood Flow Restriction on Muscle Weakness and Changes in Gait pattern.

*Medicine Science in Sports Exercise* 42(5); s374, 2010

ACSM (American College of Sports Medicine) Annual Meeting, Baltimore, Maryland USA, June 1-5, 2010

Kubota A, Sakuraba K, Totsuka R, Ogura Y, Koh S; Effect of Blood Flow Restriction on Disuse Atrophy and Muscle Weakness of Thigh Muscle

*ECSS Abstract* p207, 2010

15<sup>th</sup> Annual Congress of the European College of Sports Science, Antalya, Turkey, June 23-26, 2010

### 【国内発表】

鈴木良雄, 桜庭景植, 小林弘幸, 加治佐知子, 太田眞, 今西昭雄, 清水智美, 渡辺雅之;

24時間走における定時的な WGH 摂取が血漿グルタミン濃度, 走行能力に及ぼす影響について.

*日本体力医学会 関東地方会*, 3月13日, 2010

小山孟志, 陸川 章, 小林 唯, 吉本完明, 桜庭景植; エリート男子バスケットボール選手における最大酸素摂取量の測定と全身持久力ガイドライン作成の試み.

第21回スポーツ方法学会, 3月20-21日, 2010

桜庭景植, 窪田敦之, 戸塚涼子, 甲斐史朗, 石川拓次, 丸山麻子, 鹿倉二郎, 洪 定男; 加圧による血流制限下での筋萎縮抑制効果について.

第83回日本整形外科学会学術総会, 東京, 5月29日, 2010

金子雅明, 岡崎倫江, 上條史子, 上田泰久, 柿崎藤泰, 桜庭景植;

片脚着地動作が下肢アライメントと着地直前直後筋活動に及ぼす影響.

*整スポ会誌*, 30(4): 380, 2010

第36回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, 横浜, 9月10-12日, 2010

橋本貴幸, 桜庭景植; 足部内在屈筋の筋力トレーニング効果について.

整スポ会誌, 30(4): 365, 2010

第36回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 横浜, 9月10-12日, 2010

村上彰宏, 桜庭景植; 投球動作における肩関節水平外転動作と投球肩障害の関連について.

整スポ会誌, 30(4): 386, 2010

第36回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 横浜, 9月10-12日, 2010

三浦達浩, 桜庭景植; 健康青年における座位姿勢での脊柱アライメントと体幹筋活動.

整スポ会誌, 30(4): 387, 2010

第36回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 横浜, 9月10-12日, 2010

岡崎昌典, 桜庭景植; 足関節捻挫後の主観的足部不安定感と下肢動的アライメントとの関係; 高校生バレーボール選手を対象として.

第65回日本体力医学会, 千葉, 9月18日, 2010

丸山麻子, 桜庭景植, 若松健太, 鹿倉二郎; 体育系女子学生における運動習慣と骨代謝能指標との関連.

日本臨床スポーツ医学会誌 (1346-4159) 18巻4号 Page S187 (2010.10)

第21回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 11月6-7日, 筑波, 2010

若松健太, 桜庭景植, 丸山麻子, 鹿倉二郎, 越智英輔; 大学ラグロス選手における骨代謝マーカーおよび骨質関連マーカーに関する研究.

日本臨床スポーツ医学会誌 (1346-4159) 18巻4号 Page S187 (2010.10)

第21回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 11月6-7日, 筑波, 2010

村上幸士, 桜庭景植; 腰痛経験の有無にて比較した腹横筋および周辺筋膜の変化 超音波画像を使用して.

日本臨床スポーツ医学会誌 (1346-4159) 18巻4号 Page S179 (2010.10)

第21回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 11月6-7日, 筑波, 2010

市毛雅之, 桜庭景植, 菅波盛雄, 廣瀬伸良高校生における柔道競技大会の外傷実態調査.

日本臨床スポーツ医学会誌 (1346-4159) 18巻4号 Page S177 (2010.10)

第21回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 11月6-7日, 筑波, 2010

太田 真, 渡辺雅之, 桜庭景植, 小笠原定雅, 小堀悦孝, 鈴木良雄, 小原 誠, 清水智美; 24時間ランニング中の血管炎症反応および内因性性ホルモンの推移.

日本臨床スポーツ医学会誌 (1346-4159) 18巻4号 Page 1S62 (2010.10)

第21回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 11月6-7日, 筑波, 2010

#### 【講演】

桜庭景植; 膝関節の筋力特性・レジスタンストレーニング～血流制限下筋力トレーニングを中心に～

東京都臨床整形外科医会, 1月9日, 東京, 2010

桜庭景植; オーバーユーズ症候群による学童期のスポーツ障害.

栃木県医師会健康スポーツ医学再研修会, 栃木, 1月24日, 2010

桜庭景植; トップアスリートの医科学サポート,

埼玉県整形外科医会・第17回整形外科勤務医部会, さいたま, 3月5日, 2010

桜庭景植; 疲労骨折～早期発見を中心に～

第31回栃木県スポーツ医学研究会, 栃木, 12月1日, 2010

#### 【講習会講演】

桜庭景植; 運動器の機能・解剖と外傷・傷害(下肢), 日本体育協会公認アスレチックトレーナー養成講習会, 東京, 2月3日, 2010

桜庭景植; スポーツ行事と安全管理～現場における救急処置～

日本体育協会公認スポーツドクター講習会, 東京, 2月21日, 2010

桜庭景植; 職場・日常生活において簡単にできる正しい歩行・筋肉トレーニング・ストレッチ.

東京都医師会 第19回健康スポーツ医学講習会, 6月20日, 2010

桜庭景植; 運動と外傷～過労性スポーツ障害～

東京都医師会 後期健康スポーツ医学講習会, 7月24日, 2010

桜庭景植; 運動療法とリハビリテーション～運動器疾患～

東京都医師会 後期健康スポーツ医学講習会, 7月24日, 2010

桜庭景植; 地域・職場で役に立つ運動療法の実際.

千代田区医師会産業医研修会, 9月20日, 東京, 2010

桜庭景植; 運動障害と予防; 外科的傷害, 上肢.

健康運動指導士養成講習会, 東京, 11月5日, 2010

## 【そのほか】

桜庭景植：高校保健ニュース；応急処置の基本，RICE.  
少年写真新聞，3月18日，2010

## 内藤 久士

## 著書

内藤久士：第4章「身体組成」，第5章「筋の適性」．アメリカスポーツ医学会（ACSM）健康にかかわる体力の測定と評価．アメリカスポーツ医学編．青木純一郎・内藤久士監訳．市村出版．pp40-75（2010）

## 論文等

Fukao K, Shimada K, Naito H, Sumiyoshi K, Inoue N, Iesaki T, Kume A, Kiyonagi T, Hiki M, Hirose K, Matsumori R, Ohsaka H, Takahashi Y, Toyoda S, Itoh S, Miyazaki T, Tada N, Daida H. **Voluntary Exercise Ameliorates the Progression of Atherosclerotic Lesion Formation via Anti-Inflammatory Effects in Apolipoprotein E-Deficient Mice.** J Atheroscler Thromb. 26; 17(12): 1226-36 (2010)

Sawada SS, Lee IM, Naito H, Tsukamoto K, Muto T, Blair SN. **Muscular and performance fitness and the incidence of type 2 diabetes: prospective study of Japanese men.** J Phys Act Health. 7(5): 627-32 (2010)

Sakamoto A, Maruyama T, Naito H, Sinclair PJ. **Acute effects of high intensity dumbbell exercise after isokinetic eccentric damage: interaction between altered pain perception and fatigue on static and dynamic muscle performance.** J Strength Cond Res. 24(8): 2042-9 (2010)

Sawada SS, Lee IM, Naito H, Noguchi J, Tsukamoto K, Muto T, Higaki Y, Tanaka H, Blair SN. **Long-term trends in cardiorespiratory fitness and the incidence of type 2 diabetes.** Diabetes Care. 33(6): 1353-7 (2010)

Radak Z, Marton O, Koltai E, Goto S, Naito H. **The Effects of Aging and Exercise on Protein Acetylation/Deacetylation: Role of Sirtuins.** 順天堂医学, 56(3), 257-259 (2010)

Baba T, Kobayashi H, Kawasaki H, Mineki R, Naito H, Ohmori D. **Glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase**

**interacts with phosphorylated Akt resulting from increased blood glucose in rat cardiac muscle.** FEBS Lett. 584(13): 2796-800 (2010)

Onishi T, Shimada K, Sato H, Seki E, Watanabe Y, Sunayama S, Ohmura H, Masaki Y, Nishitani M, Fukao K, Kume A, Sumide T, Mokuno H, Naito H, Kawai S, Daida H. **Effects of phase III cardiac rehabilitation on mortality and cardiovascular events in elderly patients with stable coronary artery disease.** Circ J. 74(4): 709-14 (2010)

Ichinoseki-Sekine N, Naito H, Harima H, Nakagawa K, Katamoto S. **Effects of home-based resistance training among elderly Japanese women with different ACTN3 (R577X) genotypes.** 順天堂スポーツ健康科学研究, 1(4), 486-93, (2010).

Koltai E, Szabo Z, Atalay M, Boldogh I, Naito H, Goto S, Nyakas C, Radak Z. **Exercise alters SIRT1, SIRT6, NAD and NAMPT levels in skeletal muscle of aged rats.** Mech Ageing De. 131(1): 21-8 (2010)

吉原利典, 杉浦崇夫, 芝口 翼, 山元勇樹, 後藤勝正, 磯山智美, 内藤久士, 大森大二郎, 吉岡利忠. **熱ストレス負荷とアスタキサンチン投与の組み合わせが廃用性筋萎縮に与える影響.** 体力科学, 日本体力医学会, 59(3), 303-312 (2010)

吉村雅文, 内藤久士, 宮原祐徹, 青葉幸洋, 吉井秀邦. **人工芝ピッチにおけるサッカーの試合が筋損傷に及ぼす影響.** 順天堂スポーツ健康科学研究, 1(3), 414-420 (2010)

芝口 翼, 杉浦崇夫, 古川達也, 吉原利典, 山元勇樹, 後藤勝正, 内藤久士, 大森大二郎, 吉岡利忠. **間欠的な再負荷と温熱負荷の組み合わせによる骨格筋萎縮の抑制.** 山口県体育学研究, 53, 1-8 (2010)

杉浦崇夫, 芝口 翼, 吉原利典, 山元勇樹, 後藤勝正, 内藤久士, 吉岡利忠. **萎縮ラットヒラメ筋のデスミン発現に及ぼす熱ストレス効果.** 体力科学, 日本体力医学会, 59(1), 167-174 (2010)

## 専門誌・報告書等

平成二十一年度体力・運動能力調査報告書（内藤久士,

廣津信義, 関根紀子その他体育局担当官3名). 文部科学省 (2010)

平成21年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告. No. IV子どもの発達段階に応じた体力向上プログラムの開発事業 (調査研究協力者会議委員として). (2010)

平成19-21年度科学研究費補助金基盤研究挑戦的萌芽研究成果報告書. サルコペニア進行の予測マーカーとしてのACTN3 遺伝子型の活用 (内藤久士). (2010)

定期的な身体運動が骨格筋オートファジー機構に及ぼす影響とその加齢変化 (小倉裕司, 内藤久士, 柿木 亮, 杉山 仁, 明間立雄). *デサントスポーツ科学* 31 pp.79-87 (2010)

学会シンポジウム・講演等

特殊環境が生体機能適応システムに及ぼす影響-温熱と運動・トレーニング. 日本体力医学会 第64回大会(新潟)シンポジウム. 平成21年9月19日, *体力科学* 59(1): 43-45 (2010)

国際(海外)学会発表

Kakigi R, Naito H, Ogura Y, Fukai Y, Yoshihara T, Ichinoseki-Sekine N, Katamoto S. **Different response of alpha-actinin isoforms to muscle damage in rat skeletal muscle.** 19th International Conference on Sport Sciences For Students, Budapest, Hungary, 平成22年4月

Kakigi R, Naito H, Ogura Y, Fukai Y, Yoshihara T, Ichinoseki-Sekine N, Katamoto S. **Different response of alpha-actinin isoforms to muscle injury in rat skeletal muscle.** The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 平成22年6月, *Medicine and Science in Sports and Exercise*. 42: 5 supplement, S5, 2010.

Sawada SS, Kakigi R, Tanaka H, Higaki H, Kumahara H, Ayabe M, Naito H, Okamoto T, Tsukamoto K, Blair SN. **Physical activity and life-style related diseases: cross-sectional study in Japanese workers.** The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 平成22年6月, *Medicine and Science in Sports and Exercise*, 42: 5 supplement, S28, 2010.

Fukai Y, Naito Y, Kakigi R, Yoshihara T, Ichinoseki-Sekine N, Katamoto S. **Effect of intermittent heat stress after muscle damage on signaling pathway in rat skeletal muscle.** The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 平成21年6月, *Medicine and Science in Sports and Exercise*, 42: 5 supplement, S266, 2010.

Saga N, Naito H, Katamoto S. **Effects of 4-week supramaximal exercise training under normobaric hypoxia on anaerobic energy release in cyclists.** The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 平成22年6月, *Medicine and Science in Sports and Exercise*, 42: 5 supplement, S330, 2010.

Ichinoseki-Sekine N, Harima H, Nakagawa K, Naito H, Katamoto S. **Effects of home-based fall prevention training in Japanese elderly women with different ACTN3 (R577X) genotypes.** The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 平成22年6月, *Medicine and Science in Sports and Exercise*, 42: 5 supplement, S425, 2010.

Ogura Y, Iemitsu M, Kakigi R, Maeda S, Naito H, Akema T. **Single bout of exercise modulates autophagy in rat cardiac muscles.** The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 平成22年6月, *Medicine and Science in Sports and Exercise*, 42: 5 supplement, S449, 2010.

Onishi T, Shimada K, Sato H, Seki E, Watanabe Y, Sunayama S, Ohmura H, Masaki Y, Nishitani M, Fukao K, Kume A, Sumide T, Mokuno H, Naito H, Kawai S, Daida H. **Effects of cardiac rehabilitation on cardiovascular events in elderly patients with stable coronary artery disease.** The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 平成22年6月, *Medicine and Science in Sports and Exercise*, 42: 5 supplement, S510, 2010.

Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Fukai Y, Ichinoseki-Sekine N, Sugiura T, Katamoto S. **A bout of local heat stress activates protein synthesis signaling in rat skeletal muscle.** The American College of Sports Medicine 57th Annual Meeting, Baltimore, USA, 平成22年6月, *Medicine and Science*



in Sports and Exercise, 42: 5 supplement, S583, 2010.

Saga N, Katamoto S, Naito H, Kai F, Sakuraba K. **Effect of heat treatment on muscle damage and muscle soreness of older and young men following eccentric exercise.** The 15th Annual Congress of the European College of Sport Science in Antalya/Turky, June, 平成22年6月

Koyama K, Umezawa J, Kurihara T, Naito H, Yanagiya T. **The influence of position and area of shock absorbing material of shoes on ground reaction force during walking.** 6th World Congress on Biomechanics, Singapore, 平成22年8月

Ozaki H, Miyachi M, Ogasawara R, Yasuda T, Sato Y, Naito H, Abe T. **Blood flow restricted low-intensity resistance training increased muscle size/function but arterial compliance was unchanged.** The British Association of Sport and Exercise Sciences Annual Conference, Glasgow, Scotland, 平成22年9月

Ichinoseki-Sekine N, Naito H, Yoshihara T, Ogura Y, Sugiura T, SK Powers. Response of alpha-actinin isoforms to mechanical ventilation-induced diaphragmatic atrophy. ACSM Conference on Integrative Physiology of Exercise, Miami, USA, 平成22年9月

#### 国内学会発表

吉原利典, 内藤久士, 柿木 亮, 深井勇人, 関根紀子, 杉浦崇夫, 形本静夫. **一過性の局所的温熱負荷はラット骨格筋におけるタンパク質合成シグナル伝達経路を活性化する.** 第17回日本健康体力栄養学会, 銚子, 平成22年3月

制野亜美, 内藤久士, 形本静夫. **ウォーキング方法の違いがエネルギー消費量に及ぼす影響.** 第17回日本健康体力栄養学会, 銚子, 平成22年3月

木口裕貴, 内藤久士, 形本静夫. **前日のコンセントリック筋活動が遅発性筋痛の抑制に及ぼす影響.** 第17回日本健康体力栄養学会, 銚子, 平成22年3月

一瀬暢言, 内藤久士, 形本静夫. **体幹筋力と動的バランス能力の関連性に関する研究.** 第17回日本健康体力栄養学会, 銚子, 平成22年3月

小川敦史, 内藤久士, 形本静夫. **スタビライゼーション能力が投球の正確性および球速に及ぼす影響.** 第17回日本健康体力栄養学会, 銚子, 平成22年3月

佐賀典生, 内藤久士, 形本静夫. **温熱処置と伸張性運動の反復がホルモン応答に及ぼす影響.** 第18回日本運動生理学学会大会, 鹿児島, 平成22年7月

柿木 亮, 内藤久士, 小倉裕司, 深井勇人, 吉原利典, 形本静夫. **ラット損傷筋における $\alpha$ アクチニンアイソフォーム発現.** 第18回日本運動生理学学会大会, 鹿児島, 平成22年7月

芝口 翼, 杉浦崇夫, 後藤勝正, 内藤久士, 吉岡利忠. **温熱負荷と抗酸化食摂取の組み合わせが萎縮筋の回復過程に及ぼす影響.** 第18回日本運動生理学学会大会, 鹿児島, 平成22年7月

小山桂史, 渡辺圭佑, 内藤久士, 柳谷登志雄. **シューズを履くことで歩行の接地における衝撃力は軽減されるのか?.** 第61回日本体育学会大会, 愛知, 平成22年9月

小倉裕司, 内藤久士, 明間立雄. **速筋と遅筋におけるオートファジータンパク質およびその遺伝子発現量の比較.** 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 597 (2010)

柿木 亮, 内藤久士, 小林裕幸, 佐賀典生, 関根紀子, 小倉裕司, 吉原利典, 形本静夫. **温熱負荷を伴うレジスタンス運動がヒト骨格筋のmTORシグナル伝達に及ぼす影響.** 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 702 (2010)

深井勇人, 内藤久士, 柿木 亮, 吉原利典, 関根紀子, 形本静夫. **筋損傷後の温熱負荷がラット骨格筋のAkt/mTOR経路に及ぼす影響.** 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 603 (2010)

尾崎隼朗, 坂牧美歌子, 佐藤義昭, 内藤久士, 安部孝. **中高齢女性の血流制限下での歩行運動が急性的なホルモン分泌応答に及ぼす影響.** 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 883 (2010)

渡辺圭佑, 内藤久士, 柳谷登志雄. **下肢スティフネスに**

関する子どもの特性. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 920 (2010)

杉浦崇夫, 吉原利典, 芝口 翼, 山元勇樹, 後藤勝正, 西郷真奈美, 内藤久士, 大森大二郎, 吉岡利忠. デスミン発現からみた温熱ストレスとアスタキサンチン投与の組み合わせによる筋萎縮の抑制効果. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 628 (2010)

吉原利典, 内藤久士, 柿木 亮, 深井勇人, 関根紀子, 杉浦崇夫, 形本静夫. 一過性の局所的温熱負荷がラット骨格筋におけるオートファジーの調節に及ぼす影響. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 631 (2010)

関根紀子, 内藤久士, 張間裕子, 中川 香, 形本静夫. ACTN3 遺伝子多型と高齢日本人女性のトレーニング効果. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 891 (2010)

佐賀典生, 内藤久士, 形本静夫. 温熱処置と伸張性運動の反復が筋損傷および筋痛に及ぼす影響. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 892 (2010)

北田友治, 内藤久士. 女子400 m 走選手の全力自転車運動における仕事量と無氣的エネルギーとの関係. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 895 (2010)

中瀧 崇, 池永昌弘, 田中宏暁, 内藤久士, 清永 明. 喫煙が最大運動負荷試験中の呼吸循環応答に及ぼす一過性の影響. 第65回日本体力医学会大会, 千葉, 平成22年9月, 体力科学 59(6): 830 (2010)

石原美彦, 内藤久士, 青葉幸洋, 吉村雅文. VTR 教材を用いたオフサイド判定トレーニングの有効性. 日本フットボール学会 8th congress, 東京, 平成22年12月

渡辺圭佑, 櫻庭景植, 勝俣康之, 青野武志, 栗原俊之, 柳谷登志雄. 足関節のサポーターの着用が跳躍運動のパフォーマンスに及ぼす影響. 日本トレーニング科学会 第23回大会, 福岡, 平成22年12月

竹内汐里, 形本静夫, 内藤久士. トライアスロン競技におけるスイム前の水分摂取が運動パフォーマンスに及ぼす影響. 第53回卒業論文・修士論文発表会 (日本女子体育連盟) 2010年2月

関 直也, 形本静夫, 内藤久士. サッカーにおけるアコンディショニングが疲労回復に及ぼす影響. 第53回卒業論文・修士論文発表会 (日本女子体育連盟) 2010年2月

山口貴大, 形本静夫, 内藤久士. 各種ハンドパドル使用による水泳時筋活動の変化. 第53回卒業論文・修士論文発表会 (日本女子体育連盟) 2010年2月

米倉拓也, 形本静夫, 内藤久士. 陸上競技中距離選手の無酸素的能力を高めるための低酸素条件の検討. 第53回卒業論文・修士論文発表会 (日本女子体育連盟) 2010年2月

丸田果奈, 内藤久士, 形本静夫. レモンの香り運動パフォーマンスに及ぼす影響. 第53回卒業論文・修士論文発表会 (日本女子体育連盟) 2010年2月

齋藤勇紀, 形本静夫, 内藤久士. トライアスロンの競技的特性の研究～バイク後のランニングにおける生理学的反応から～. 第53回卒業論文・修士論文発表会 (日本女子体育連盟) 2010年2月

## 【先任准教授】

廣津 信義

論文

時間内で得点を競う球技の試合における確率計算の方法. 廣津信義, 吉井秀邦, 青葉幸洋, 吉村雅文. 順天堂スポーツ健康科学研究, 1(3), 361-376 (2010).

Evaluation of Individual and Team Judo Strengths Using AHP Technique and Team Competition Data. N. Hirose, M. Nakamura, N. Hirotsu, M. Yoshimura, M. Suganami, N. Maekawa. Journal of Quantitative Analysis in Sports, 6(4), Article 2 (2010).

国際学会発表

A Relationship between DEA and Sabermetrics in Evaluation of Batters in Baseball. N. Hirotsu. DEA (Data Envelopment Analysis) Symposium 2010 (Jiaosi, Taiwan).

平成22年1月20日. Book of Abstract (2010).

**A Relationship between Data Envelopment Analysis and Sabermetrics in the Evaluation of Batters in Baseball.** N. Hirotsu. Asian Conference on Computer Science in Sports (Tokyo). 平成22年9月25日. Proceedings of ACGSS2010, 75-80 (2010).

**Reconsideration of the Best Batting Order in Baseball: Is the Order to Maximize the Expected Number of Runs Really the Best?** N. Hirotsu. 2010 Northern California Symposium on Statistics and Operations Research in Sports (Ather-ton, California), 平成22年10月16日. Book of Abstract, 4 (2010).

国内学会発表

野球投手におけるDEAとセイバーメトリクスによる評価の比較. 廣津信義. 2010年日本OR学会春季研究発表会(南大沢). 平成22年3月5日. 2010年日本OR学会春季研究発表会アブストラクト集(2010).

時間内で得点を競う球技の試合における簡易的な確率計算の方法. 廣津信義, 青葉幸洋, 吉村雅文. 日本体育学会第61回大会(豊田). 平成22年9月8日. 予稿集, 228 (2010).

箱根駅伝予選会における予選通過タイムの確率計算の方法. 廣津信義. 2010年日本OR学会秋季研究発表会(福島). 平成22年9月17日. 2010年日本OR学会秋季研究発表会アブストラクト集, 154-155 (2010).

その他

**A Game Theoretic Analysis of Tactics in the Phase of Reception Attack in Volleyball.** N. Hirotsu, M. Ito, C. Miyaji, K. Hamano, A. Taguchi. International Journal of Computer Science in Sports, 9(1), 30-44 (2010).

資料: AHPを利用した剣道団体戦力評価の試み. 岩切公治, 中村充, 廣瀬伸良, 廣津信義. 国際武道大学研究紀要, 25. 85-91 (2010).

## 柳谷登志雄

1) 柳谷登志雄, 各務泰輝, 小山桂史, 渡辺圭佑. 着地時におけるソルボセインの衝撃緩衝性について. 第23回日本トレーニング科学会大会, 福岡 12/18-19, 2010

2) 渡辺圭佑, 櫻庭景植, 勝俣康之, 青野武志, 栗原俊之, 柳谷登志雄. 足関節のサポータの着用が跳躍運動のパフォーマンスに及ぼす影響. 日本トレーニング科学会 第23回大会, 福岡 2010. 12/18-19, 2010

3) 高橋佑毅, 柳谷登志雄. 子ども用シューズのソールの硬さが足部の動態に及ぼす影響. 第23回日本トレーニング科学会大会, 12/18-19, 2010

4) 千葉佳裕, 柳谷登志雄, 佐久間和彦. 陸上競技男子400mH競技者における加速度変化に関する研究. 日本トレーニング科学会 第23回大会, 福岡 2010. 12/18-19, 2010

5) 小山桂史, 渡辺圭佑, 柳谷登志雄. SORBOR®の面積が歩行時の衝撃力に及ぼす影響. 日本靴医学学術集会第24回大会, 宮城 2010. 9/17-18, 2010

6) 渡辺圭佑, 内藤久士, 柳谷登志雄. 下肢スティフネスに関する子どもの特性. 第65回日本体力医学会大会, 千葉 9/9-10, 2010

7) 小山桂史, 渡辺圭佑, 柳谷登志雄. シューズを履くことで歩行の接地における衝撃力は軽減されるのか? 第61回日本体育学会, 愛知 9/8-10, 2010

8) 小山桂史, 渡辺圭佑, 柳谷登志雄. 衝撃吸収材SORBOR®をシューズへ挿入することが歩行時の衝撃力に及ぼす影響. 第21回日本バイオメカニクス学会大会, 東京 8/28-30, 2010

9) 渡辺圭佑, 小山桂史, 青木和浩, 勝俣康之, 越川一紀, 柳谷登志雄. 下肢スティフネスの性差に関する研究. 第21回日本バイオメカニクス学会大会, 東京 8/28-30, 2010

10) 高橋佑毅, 柳谷登志雄. 子ども用運動靴の前足部にゴム製のバネを配置することで疾走速度は向上するか?, 第21回日本バイオメカニクス学会大会, 東京 8/28-30, 2010

11) Toshio Yanagiya, Joji Umezawa, Keiji Koyama, Keisuke Watanabe, Takafumi Shimizu, Toshiyuki Kurihara, Sakura Tanaka, Hideyuki Ishi, Hisashi Naito. **Laterality of the Foot and Ankle Joint Kinematics during Contact Phases of Sprint Running in a Curved Lane for Children.** 6th World Congress on Biomechanics. Singapore Suntec Convention Centre 8/1-6, 2010.

12) Keiji Koyama, Joji Umezawa, Toshiyuki Kurihara, Hisashi Naito, Toshio Yanagiya. **The influence of position and area of shock absorbing material of shoes on ground reaction force during walking**. 6th World Congress on Biomechanics. Singapore Suntec Convention Centre 8/1-6, 2010.

13) Keisuke WATANABE, Joji UMEZAWA, Toshio YANAGIYA. **The Relationship Leg Stiffness and Frequency in Hopping**. 6th World Congress on Biomechanics. Singapore Suntec Convention Centre 8/1-6, 2010.

14) 小山桂史, 仲村 明, 柳谷登志雄, **大腿直筋と中間広筋の筋厚比が陸上競技における長距離走選手の走動作に及ぼす影響**, トレーニング科学受理済

15) Keiji Koyama, Joji Umezawa, Toshiyuki Kurihara, Hisashi Naito, Toshio Yanagiya, **The influence of position and area of shock absorbing material of shoes on ground reaction force during walking**. IFMBE Proceedings, Volume 31, 262-265

#### 【助教】

河村 剛光

#### 【論文等】

1. 大学体育実技におけるニュースポーツの教材としての有用性—インディアカ・ユニバーサルホッケーとバレーボール・バスケットボールの運動特性の比較から—  
中丸信吾, 池畑亜由美, 木村博人, 河村剛光, 青木和浩  
レジャー・レクリエーション研究, 第64号, 3-12, 2010.

#### 【学会発表等】

1. 女子投擲競技者を対象とした鍛錬期前後におけるコントロールテスト値の変化

高梨雄太, 青木和浩, 河村剛光, 與名本稔, 金子今朝秋  
日本陸上競技学会第9回大会抄録集 p. 23, 2010. 12月

2. 体育系大学生における機能カラーレンズの使用と視機能

河村剛光, 村上茂樹, 青木和浩

日本トレーニング科学会 第23回大会抄録集, 2010. 12月

3. 横方向動体視力と眼球運動の性差に関する研究

河村剛光, 青木和浩

第17回スポーツビジョン研究集会, 2010. 8月

#### 木藤 友規

#### 〈論文〉

**反応能力を要するコーディネーション運動後の行動選択時間の変化**

竹内敏康, 木藤友規, 中嶽 誠, 青木和浩, 米田継武, 千葉体育学研究, 33巻: 1-9, 2010年

#### 〈学会発表〉

**柔道競技における血中乳酸濃度の測定**

菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充, 木藤友規, 田村昌大, 前川直也, 第43回日本武道学会, 2010年

#### 【助手】

#### 丸山 麻子

#### 〈学会発表〉

(1) 桜庭景植, 窪田敦之, 戸塚涼子, 甲斐史朗, 石川拓次, 丸山麻子, 鹿倉二郎, 洪 定男: 加圧による血流制限下での筋萎縮抑制効果について, 第83回日本整形外科学会学術集会, 2010年5月

(2) 丸山麻子, 桜庭景植, 若松健太, 鹿倉二郎: 体育系女子学生における運動習慣と骨代謝能指標との関連, 第21回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2010年11月

(3) 若松健太, 桜庭景植, 丸山麻子, 鹿倉二郎, 越智英輔: 大学ラグロス選手における骨代謝マーカーおよび骨質関連マーカーに関する研究, 第21回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2010年11月

(4) 石川拓次, 桜庭景植, 鹿倉二郎, 丸山麻子, 窪田敦之, 門屋悠香, 佐久間和彦: 長距離走者と短距離走者における膝関節周囲筋筋力発揮の特性 競技力上位群と下位群の比較, 第21回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2010年11月

#### 〈解説〉

(1) 丸山麻子, 桜庭景植: 疲れとだるさ 治療 急性疲労回復のための知恵 スポーツ選手の疲労回復, JIM: Journal of Integrated Medicine 20 (11) 847-849 (2010)

— 2) コーチング科学コース —

【教授】

金子今朝秋

〈学会発表〉

砲丸投グライド動作について—一台を利用したグライド動作の有効性について—：中山 東，金子今朝秋，青木和浩，高梨雄太，渡辺圭祐，熊谷直樹，日本陸上競技学会第9回大会，2010. 12.

動作法がハンマー投のパフォーマンスに与える影響について：長瀬翔馬，金子今朝秋，越川一紀，高梨雄太，野口裕史，熊谷直樹，日本陸上競技学会第9回大会，2010. 12.

スイング真横投げ練習がハンマー投げに及ぼす効果について：野口裕史，高梨雄太，金子今朝秋，相木和浩，渡辺圭祐，長瀬翔馬，熊谷直樹，日本陸上競技学会第9回大会，2010. 12.

女子投擲競技者を対象とした鍛練期前後におけるコントロールテスト値の変化：高梨雄太，青木和浩，河村剛光，興名本 稔，金子今朝秋，日本陸上競技学会第9回大会，2010. 12.

大学陸上競技者の摂食への意識に関する調査研究：加末将洋，高梨雄太，越川一紀，青木和浩，中丸信吾，金子今朝秋，興名本 稔，日本陸上競技学会第9回大会，2010. 12.

加納 實

〔論文〕

つり輪における中水平支持のトレーニングに関する一考察

釘宮宗大・加納 實・原田陸巳

体操競技・器械運動研究18号：11-21 (2010. 3)

平行棒における「後ろ振り上がり前方屈身宙返り支持(日本式宙返り)」の技術に関するモルフォロギー的一考察

原田陸巳・木下紘一郎・富田洋之・加納 實

順天堂スポーツ健康科学研究第1巻第4号：457-471 (2010. 4)

〔報告〕

施設設備の設置に関する基本地調査プロジェクト  
～器械運動における器械・器具の調査～

加納 實・竹田幸夫

体操競技・器械運動研究18号：51-56 (2010. 3)

佐久間和彦

シンポジウム

『陸上競技における技術選択』・リレーにおけるバトンパス方法の選択について

パネリスト：佐久間和彦，土江寛裕，遠藤俊典

日本陸上競技学会第9回大会(青山学院大学) 2010年12月4・5日

学会発表

『陸上競技男子400 mH 競技者における加速度変化に関する研究』

千葉佳裕(順天堂大学大学院)，佐久間和彦・柳谷登志雄(順天堂大学スポーツ健康科学部)

第23回日本トレーニング科学会大会(福岡大学) 2010年12月18・19日

資料

『2009年度 学生生活満足度調査報告』

久保田洋一，佐久間和彦，山田 満，馬場 猛，柳沼貴司  
順天堂スポーツ健康科学研究 第1巻 平成22年3月

鹿倉 二郎

【著書(分担執筆，分担訳)】

運動器の解剖と機能；1. 体表の区分，2. 運動の表し方：財団法人日本体育協会編，「公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第2巻」，2-7頁，2010年2月.

アスレティック・トレーナー；専門職としての地位と歴史：Susan Kay Hillman 著，中村千秋監訳，「アスレティック・トレーニング入門」，1-26頁，大修館書店，2010年11月.

【学会発表】

チームスポーツにおける傷害管理システムの開発：渡邊裕之，鳥居 俊，久保田光昭，倉持梨恵子，鹿倉二郎，長瀬エリカ，飯田悠佳子，原田 長. 第21回臨床スポーツ医

学会学術集会, 2010年11月.

長距離走者と短距離走者における膝関節周囲筋力発揮の特性—競技力上位群と下位群の比較—. 石川拓次, 桜庭景植, 鹿倉二郎, 丸山麻子, 窪田敦之, 門屋悠香, 佐久間和彦. 第21回臨床スポーツ医学会学術集会, 2010年11月.

大学ラグロス選手における骨代謝マーカーおよび骨質関連マーカーに関する研究. 若松健太, 桜庭景植, 丸山麻子, 鹿倉二郎, 越智英輔. 第21回臨床スポーツ医学会学術集会, 2010年11月.

体育系女子学生における運動習慣と骨代謝能指標との関係. 丸山麻子, 桜庭景植, 若松健太, 鹿倉二郎. 第21回臨床スポーツ医学会学術集会, 2010年11月.

### 菅波 盛雄

#### 【学会発表】

1. 柔道競技における血中乳酸濃度測定を試み  
菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充, 木藤友規, 田村昌大, 前川直也  
武道学研究 第43巻別冊82, 2010
2. THE DIFFERENCES OF EVALUATIONS BETWEEN JUDGES IN WORLD KATA JUDO CHAMPIONSHIPS  
MORIO SUGANAMI TAIRAI MINO  
11<sup>th</sup> INTERNATIONAL SPORT SCIENCE CONGRESS  
ABSTRACT BOOK 288-289, 2010

#### 【雑誌】

- 全日本柔道形競技大会  
菅波盛雄  
柔道 第82巻 1号 96-106 2011

### 濱野 光之

#### 【学術論文】

A Game Theoretic Analysis of Tactics in the Phase of Reception Attack Volleyball: Nobuyoshi Hirotsu, Masamitsu Ito, Chikara Miyaji, Koji Hamano, Azuma Taguchi. International journal of Computer Science in Sports, 9(1): 30-34, 2010. 6

### 中島 宣行

#### 1. 原著

①菊地啓太, 中島宣行, 綿田博人「大学野球における配球について—カウント0-0における投球の分析—」慶応義塾大学体育研究所紀要 49(1): 15-25, 2010. 1

②菊地啓太, 綿田博人, 中島宣行「大学野球部における部員のコミットメントと心理的成熟の関係について」順天堂スポーツ健康科学研究 2(1): 1-14, 2010. 10

#### 2. 報告

①齊藤衛門, 中島宣行「学習者の向性が運動学習の効果に及ぼす影響について」順天堂スポーツ健康科学研究 2(2): 78-81, 2010. 11

②川村佑貴, 中島宣行「ジュニアサッカーユース選手におけるミニゲーム中の「勇気づけ」が競技意欲, 心理状態, 運動強度に及ぼす影響—目標志向性に注目して—」順天堂スポーツ健康科学研究 2(3): 95-98, 2010. 12

#### 3. 学会発表

- ①大西正裕, 高橋麻衣子, 土屋大志郎, 中澤朋美, 中島宣行「大学生アスリートにおける職業決定に及ぼす様々な場面での自己効力感の影響」日本ウエルネス学会第7回大会発表抄録集 2010. 9
- ②仁藤恵里子, 佐藤 翼, 奥村達也, 石崎 悠, 中島宣行「選手が望むコーチの理想像について」日本ウエルネス学会第7回大会発表抄録集 2010. 9

③加藤恭章, 中島宣行「イメージトレーニングと身体トレーニングの比較—運動学習・両側性転移の効果から—」日本スポーツ心理学会第37回大会研究発表抄録集 2010. 11

#### 【先任准教授】

### 青木 和浩

#### 〈学術論文〉

竹内敏康, 木藤友規, 中嶽 誠, 青木和浩, 米田継武. 反応能力を要するコーディネーション運動後の行動選択時間の変化. 千葉県体育学研究 30, 1~10, 2010. 7

(研究報告・研究資料等)

青木和浩, 吉田孝久. 第5回東アジア競技大会, 陸上競技報告. 第5回東アジア大会(2009/香港)日本選手団報告書, 136~137, 2010. 3

青木和浩. 菅井洋平選手の走幅跳に関わる意識の変化について—大学から現在までの自身の走幅跳への理解度に着目して—. 陸上競技研究 83, 47~51, 2010. 12

<学会発表>

渡辺圭佑, 小山桂史, 青木和浩, 勝俣康之, 越川一紀, 柳谷登志雄. 下肢スティフネスの性差に関する研究. 第21回日本バイオメカニクスが回大会, 94, 2010. 8

持田 新, 古田島浩子, 青木和浩, 越川一紀, 花川 隆, 柳原 大. 走高跳選手における跳躍試技の認知・予測に関わる脳活動. 日本陸上競技学会第9回大会, 15, 2010. 12

中山 東, 金子今朝秋, 青木和浩, 高梨雄太, 渡辺圭佑, 熊谷直樹. 砲丸投グライド動作について—台を利用したグライド動作の有効性について—. 日本陸上競技学会第9回大会, 21, 2010. 12

野口裕史, 高梨雄太, 金子今朝秋, 青木和浩, 渡辺圭佑, 長瀬翔馬, 熊谷直樹. スイング真横投げ練習がハンマー投げに及ぼす効果について. 日本陸上競技学会第9回大会, 22, 2010. 12

高梨雄太, 青木和浩, 河村剛光, 與名本稔, 金子今朝秋. 女子投擲競技者を対象とした鍛錬期前後におけるコントロールテスト値の変化. 日本陸上競技学会第9回大会, 23, 2010.12

加末将洋, 高梨雄太, 越川一紀, 青木和浩, 中丸信吾, 金子今朝秋, 與名本稔. 大学陸上競技者の摂取への意識に関する調査研究. 日本陸上競技学会第9回大会, 26, 2010. 12

河村剛光, 村上茂樹, 青木和浩. 体育系大学生における機能カラーレンズの使用と視機能. 第23回日本トレーニング科学大会, 53, 2010. 12

## 今関 豊一

【学会発表】

1) 日本体育学会第61回大会(中京大学)「体育科学学習指導要領における学習内容の概念的成立の一考察」, 副題として, 「一カリキュラム編成の参考としての学習指導要領を中心に—」

【講師等】

1) 第60回全国学校保健研究大会(群馬) 文部科学省主催 2010/11/19 第2課題(保健学習)講師「保健学習における学習内容の明確化について」

【著書】

1) 高等学校新学習指導要領の展開—保健体育科編— 明治図書 2010/4  
(Ⅰ保健体育科の改訂のねらいと要点, Ⅳ新しい科目「保健」の目標と内容, Ⅴ指導計画作成上の留意事項, を担当)

【専門誌・報告書等】

1) 小・中学生段階の器械運動の技達成状況と学習指導要領の内容の妥当性に関する研究 体育科のナショナルスタンダード策定の試みとその妥当性の検証, 平成19-21年度科学研究費基盤研究A(19200045A)研究成果報告書, 小林博隆, 佐藤豊, 今関豊一, 元塚俊彦, 高橋健夫.

## 鯉川なつえ

長距離ランナーにおけるアクアコンディショニングの効果: 徳本一徳, 鯉川なつえ, 仲村 明, 平尾朋美, 桜庭景植, 澤木啓祐, 陸上競技研究 80(1): 20-28. 2010. 3

女性アスリートの月経コントロールに関する事例的研究: 鯉川なつえ, 平尾朋美, 宮崎亮一郎, 日本陸上競技学会第9回大会: 26, 2010. 12

## 越川 一紀

<学会発表>

渡辺圭佑, 小山桂史, 青木和浩, 勝俣康之, 越川一紀, 柳谷登志雄. 下肢スティフネスの性差に関する研究. 第21回日本バイオメカニクスが回大会, 94, 2010. 8

持田 新, 古田島浩子, 青木和浩, 越川一紀, 花川 隆, 柳原 大. 走高跳選手における跳躍試技の認知・予測に関

わる脳活動. 日本陸上競技学会第9回大会, 15, 2010. 12

長瀬翔馬, 金子今朝秋, 越川一紀, 高梨雄太, 野口裕史, 熊谷直樹. 動作法がハンマー投のパフォーマンスに与える影響について. 日本陸上競技学会第9回大会, 21, 2010. 12

加末将洋, 高梨雄太, 越川一紀, 青木和浩, 中丸信吾, 金子今朝秋, 與名本稔. 大学陸上競技者の摂取への意識に関する調査研究. 日本陸上競技学会第9回大会, 26, 2010. 12

### 鈴木 大地

1. Evaluation of autonomic nervous system by heart rate variability and differential count of leukocytes in athletes. Nobuhiro Suetake, Yukiko Morita, Daichi Suzuki, Keiko Lee, Hiroyuki Kobayashi: PP. 1191-1198 DOI: 10.4236/Health.2010.210175

2. Epidemiological Feature of Liver Cancer (Hepatocellular Carcinoma) in Japan  
Juichi SAKAMOTO, Ipeei TAKAHASHI, Hiroki IWASAKI, Keiko KUMETA, Koichi FUNAHASHI, Mariko SEMATOO, Toshiaki TSUKAMOTO, Yousuke YAMAMOTO, Daichi SUZUKI, Miya NISHIMURA, Liu QIANG: JPFNI 2010; 20(S): 38-43 (査読中)

### 竹内 敏康

<論文>

反応能力を要するコーディネーション運動後の行動選択時間の変化 竹内敏康, 木藤友規, 中嶽 誠, 青木和浩, 米田継武 千葉体育学研究, 33巻: 1-9, 2010年

### 中村 充

【原著】

1. Evaluation of individual and team judo strengths using AHP technique and team competition data  
Nobuyoshi Hirose, Mitsuru Nakamura, Nobuyoshi Hirotsu, Masafumi Yoshimura Morio Suganami, Naoya Maekawa, *Journal of Quantitative Analysis in Sports: Vol. 6: Iss. 4, Article2* (2010)

2. 柔道「投の形」における評価の類似性と観点に関する研究

金持拓身, 廣瀬伸良, 中村 充, 前川直也, 田村昌大, 菅波盛雄  
武道学研究第43巻第1号1-8, 2010

3. 高校柔道選手の精神構造

前川直也, 江田茂行, 菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充, 渡邊直勇, 渡邊涼子, 藤本誠, 鈴木貴士, 坂本道人, 金丸雄介  
新潟体育学研究第27巻31-38, 2010.

4. 第1回世界形選手権大会における審査員間の評価の差異に関する研究

菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充, 前川直也  
順天堂大学スポーツ健康科学研究第1巻第3号377-384, 2010.

5. AHP を利用した剣道団体戦力評価の試み

岩切公治, 中村 充, 廣瀬伸良, 廣津信義  
国際武道大学紀要第25号 85-91, 2009

【学会発表】

1. 地方有力大学柔道選手の心理的特性について

前川直也, 坂本道人, 廣瀬伸良, 菅波盛雄, 中村 充,  
武道学研究第43巻別冊 48, 2010

2. 柔道競技における血中乳酸濃度測定を試み

菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充, 木藤友規, 田村昌大, 前川直也  
武道学研究第43巻別冊 82, 2010

### 廣瀬 伸良

【原著】

1. Screening Examination and Treatment of *Trichophyton tonsurans* Infection in Judo Athletes Affiliated with the University Judo Federation of Tokyo

Nobuyoshi Hirose, Morio Suganami, Yumi Shiraki Ogawa, Masataro Hiruma, Hideoki Ogawa *Mycoses Early View, Date: October (2009)*

2. Evaluation of individual and team judo strengths using AHP technique and team competition data



Nobuyoshi Hirose, Mitsuru Nakamura, Nobuyoshi Hirotsu, Masafumi Yoshimura Morio Suganami, Naoya Maekawa, **Journal of Quantitative Analysis in Sports: Vol. 6: Iss. 4, Article2 (2010)**

3. 柔道「投の形」における評価の類似性と観点に関する研究

金持拓身, 廣瀬伸良, 中村 充, 前川直也, 田村昌大, 菅波盛雄

武道学研究第43巻第1号1-8, 2010

4. 高校柔道選手の精神構造

前川直也, 江田茂行, 菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充, 渡邊直勇, 渡邊涼子, 藤本誠, 鈴木貴士, 坂本道人, 金丸雄介

新潟体育学研究第27巻31-38, 2010.

5. 第1回世界形選手権大会における審査員間の評価の差異に関する研究

菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充, 前川直也

順天堂大学スポーツ健康科学研究第1巻第3号377-384, 2010.

6. AHPを利用した剣道団体戦力評価の試み

岩切公治, 中村 充, 廣瀬伸良, 廣津信義

国際武道大学紀要第25号85-91, 2009

【学会発表】

1. 2008年~2010年度における東京学生柔道連盟登録選手を対象にした *Trichophyton tonsurans* 感染症の簡易調査とその治療成績

廣瀬伸良, 菅波盛雄, 小川祐美, 比留間政太郎

日本医真菌学会雑誌第51巻1号 p40, 2010.

2. 地方有力大学柔道選手の心理的特性について

前川直也, 坂本道人, 廣瀬伸良, 菅波盛雄, 中村 充,

武道学研究第43巻別冊48, 2010

3. 柔道競技における血中乳酸濃度測定を試み

菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村 充, 木藤友規, 田村昌大, 前川直也

武道学研究第43巻別冊82, 2010

吉村 雅文

【原著】

1. 廣津信義, 吉井秀邦, 青葉幸洋, 吉村雅文: 時間内で得点を競う球技の試合における確率計算の方法 順天堂スポーツ健康科学研究 第1巻第3号 p361~376, 2010

【資料】

1. 吉村雅文, 内藤久士, 宮原祐徹, 青葉幸洋他: 人工芝ピッチにおけるサッカーの試合が筋損傷に及ぼす影響 順天堂スポーツ健康科学研究 第1巻第3号 p414~420, 2010

【学会発表】

1. 廣津信義, 青葉幸洋, 吉村雅文: 時間内で得点を競う球技の試合における簡易的な確立計算の方法 日本体育大学61回大会

2. 吉村雅文, 内藤聖人, 渡 泰士, 青葉幸洋, 鍋島邦洋, 村上紗弥, 阿部一博, 山本哲郎, 山口英世, 長岡功: 低分子化ヒアルロン酸含有食品のサッカー選手の関節の疼痛および軟骨代謝マーカーに及ぼす効果 第21回日本臨床スポーツ医学会学術集会 p181. Vol. 18 No 4. 2010.

【講演】

吉村雅文: 「スポーツと教育」いんざい産学連携センター交流会において 5.28.2010

吉村雅文: 「スポーツと教育」第6回毛呂山 sport seminar サッカーセミナー講演会 7.27.2010

【准教授】

葛宗 浩二

【著書】

ぐんぐんうまくなる! バレーボール ベースボールマガジン社 著者 葛宗浩二 p160: 2010. 11

〈報告〉

不登校の完全なる回復事例 葛宗浩二 順天堂スポーツ健康科学研究 第1巻第4号(16号), 2010. 4, p502~507

[論文]

複数セッター制と葛宗式ローリングシステム 研究者 葛宗浩二 Coaching Playing Volleyball 67号 2010. 3/4.

P30~33

## 仲村 明

## [原著]

長距離ランナーにおけるアクアコンディショニングの効果：徳本一善，鯉川なつえ，仲村 明，平尾朋美，桜庭景植，澤木啓祐，陸上競技研究 80: 20-28, (2010. 3)

## [学会発表]

運動により変化しやすい動脈硬化指標の探索：池田啓一，高子真吾，雨宮有子，加部 勇，山倉文幸，金子今朝秋，濱野光之，仲村 明，信太直己，岩井秀明，日本衛生学会学術総会第80回，(2010. 5)  
(池田啓一の項 参照)

## 原田 睦巳

## [論文]

つり輪における中水平支持のトレーニングに関する一考察

釘宮宗大・加納 實・原田睦巳

体操競技・器械運動研究第18号，11-21, (2010.3)

平行棒における「後ろ振り上がり前方屈身宙返り支持(日本式宙返り)」の技術に関するモルフォロギー的一考察  
原田睦巳・木下紘一郎・富田洋之・加納 實

順天堂スポーツ健康科学研究第1巻第4号，457-471, (2010.3)

## 【助教】

青葉 幸洋

## 【原著】

時間内で得点を競う球技における確立計算の方法

順天堂スポーツ健康科学研究，第1巻第3巻(通巻15号)：361-376 (2010, 3)

廣津信義，吉井秀邦，青葉幸洋，吉村雅文

## 【報告】

人工芝ピッチにおけるサッカーの試合が筋損傷に及ぼす影響

順天堂スポーツ健康科学研究，第1巻第3巻(通巻15号)：414-420 (2010, 3)

吉村雅文，内藤久士，宮原祐徹，青葉幸洋，吉井秀邦

## 【学会発表】

低分子化ヒアルロン酸含有食品のサッカー選手の関節の疼痛および軟骨代謝マーカーに及ぼす影響

第21回日本臨床スポーツ医学会 (2010)

吉村雅文，内藤聖人，渡 泰士，青葉幸洋，鍋島邦洋，村上紗弥，阿部一博，山本哲郎，山口英世，長岡 功

## 荻原 朋子

(著書)

Practice11 ネット型ゲームの教材づくり・授業づくり.

荻原朋子，「新版体育科教育学入門」高橋健夫，友添秀則，岡出美則，岩田 靖 (編)，大修館書店：pp. 197-209, 2010. 4.

(論文)

The prospect of changing naive conception and performance in an overhand volleyball pass skill among seventh grade PE students.

Tomoko Ogiwara, Yoshinori Okade, Guido Geisler, International Journal of Sport and Health Science, 8: 22-34, 2010.

(学会発表・Proceedings)

参加者の多様な指導経験を生かした模擬授業実践の試みと効果.

長谷川悦示，岡出美則，三木ひろみ，宮崎明世，荻原朋子，四方田健二，須甲理生，浜上洋平，日本体育学会第61回大会，愛知. 2010.9.

FACTORS AFFECTING JAPANESE ELEMENTARY SCHOOL TEACHERS' COMMITMENT TO TEACHING PHYSICAL EDUCATION.

Kenji Yomoda, Riki Sukou, Tomoko Ogiwara, Yohei Hamagami, Etsushi Hasegawa, Hiromi Miki, Akiyo Miyazaki, Yoshinori Okade, AIESEP 2010, A Coruna, Spain. 2010.10.

Elementary School Teachers' perceptions of School-based Physical Education Lesson Study.

Kenji Yomoda, Riki Sukou, Tomoko Ogiwara, Yohei Hamagami, Yoshinori Okade, The International Conference for the 30th Anniversary of the Japanese Society of Sports Education. Tokyo, Japan. 2010.10.

(その他)

仲間学習 (peer teaching) を柱にした実践モデル. 提案  
— ネット型ゲームの実践モデル.

荻原朋子, 体育科教育, 大修館書店: pp. 44-49. 2010. 10.

富田 洋之

[論文]

平行棒における「後ろ振り上がり前方屈身宙返り支持 (日本式宙返り)」の技術に関するモルフォロジー的一考察

原田睦巳・木下紘一郎・富田洋之・加納 實

順天堂スポーツ健康科学研究第1巻第4号, 457-471,  
(2010. 3)

[講演]

— スポーツサイエンスセミナー —

新潟経営大学 (2010. 2. 14)

— 夢授業 —

柏小学校 (2010. 2. 25)

— 信念を貫き目標を達成するには —

順天堂大学看護学部フレッシュマンキャンプ (2010. 4. 23)

— アテネオリンピック —

仙台大学 (2010. 10. 31)

【助手】

小西 康仁

(体操競技)

[論文]

鉄棒における「前方浮腰回転振り出し1回ひねり倒立 (アドラー1回ひねり倒立)」の技術に関する研究

小西康仁・加納 実

順天堂スポーツ健康科学研究第2巻第1号, 35-39,  
(2010. 10)

平尾 朋美 提出なし (報告事項なし)

間瀬 公平 提出なし (報告事項なし)

〔Ⅱ. スポーツマネジメント学科〕

【教授】

青山 芳之

- 第19回 日本スポーツ産業学会学会大会 (於関西大学 2010. 7. 17-18) に学会運営委員として参加
- The 9<sup>th</sup> Pan-Pacific Conference on Ergonomics (Nov. 7-10, 2010 Ambassador Hotel Kaohsiung Taiwan) に参加
- 台湾・淡江大学・黄振家教授とイベントマーケティングに関し学術交流 (2010. 11)
- 韓国・崇実大学・全泰俊教授とスポーツ享受の日韓比較に関し学術交流

北村 薫

1. 原著論文

山口志郎, 野川春夫, 北村 薫, 山口泰雄 (2010. 12).  
スポーツイベントのスポンサーシップにおけるスポンサー  
フィットに関する研究: Gwinner and Bennett モデルの検  
証. スポーツマネジメント研究, 2(2), 147-161.

2. 著書

北村 薫 (2010. 7) 社会理論と社会システム. 社会福祉  
士・精神保健福祉士受験ワークブック編集委員会編, 社会  
福祉士・精神保健福祉士受験ワークブック2011 (共通科目  
編), 東京, 中央法規出版, 109-155 (内容点検).

3. 研究報告書

北村 薫 (委員長), 松澤淳子, 池澤 守, 犬飼博士, 三  
ッ谷洋子, 古川雅一他 (2010.3). 多様化するスポーツ健  
康市場における新たなビジネスモデルのあり方に関する調  
査研究報告書, 多様化するスポーツ健康市場における新た  
なビジネスモデルのあり方に関する調査研究 (経済産業省  
平成21年度サービス産業生産性向上支援調査事業), 経済  
産業省 (委託先: 社団法人スポーツ健康産業団体連合会),  
全124頁.

4. 学会発表

1) 山本真己, 田中純夫, 野老由佳, 川田裕次郎, 牛尾直  
行, 北村 薫 (2010. 3). 保健体育の教員養成大学にお  
ける専門性に着目した小学校との協働による児童の適応支  
援システムの構築に関する基礎的研究～実践事例からみえて  
くる効果と課題～. 日本スポーツ社会学会第19回大会抄録  
集, 30-31.

- 2) 金子典之, 北村 薫 (2010. 3). 中学校部活動の教育的機能に関する研究. 日本スポーツ社会学会第19回大会抄録集, 74-75.
- 3) 北村 薫, 松澤淳子, 池澤 守, 犬飼博士, 三ッ谷洋子, 斎藤敏一他 (2010. 7). カジュアルスポーツを活用したスポーツ人口拡大方策の方向性—静的リアルと動的バーチャルの分野にある新たな産業領域の可能性—. 日本スポーツ産業学会第19回大会号, 77-78.
- 4) 藤原昌樹, 北村 薫 (2010. 9). 大日本武徳会における階級規定の変遷とその意味. 日本体育学会第61回大会予稿集, 84.
- 5) 大沼博靖, 北村 薫 (2010. 9). 体育授業のeラーニング化に関する研究. 日本体育学会第61回大会予稿集, 102.

### 小林 淑一

#### 「研究活動報告」

- 2010年3月14日 日本テニス協会主催  
「2010コーチーズカンファレンス」にて基調講演  
「スポーツビジネス・マジック」  
～スポーツビジネスの舞台裏と成功の秘訣～
- 2010年7月1日 商工中金経済研究所発行  
「商工ジャーナル」にて発表  
「巨大化するスポーツビジネスと日本のスポーツ界」

### 須藤 路子

1. 著書 (単著)  
須藤路子 (2010) 『英語音声習得における生成と知覚のメカニズム』 風間書房
2. 学会誌  
Sudo, M. M., Mochizuki, A. A., Ito, K., and Kirino, E. (2010) Interrelationships among physical performance, language proficiency and brain activities from the viewpoint of social cognition. *Clinical Neurophysiology*, 121(1). S210.
3. 学会発表  
須藤路子・金子育世 (2010) 「日本人学習者の英語習熟度

と interstress interval の生成パターン分析 (English proficiency of Japanese learners and the analysis of production patterns of interstress intervals)」『大学英語教育学会第49回全国大会要綱』122-123.

### 野川 春夫

#### 〈著書〉

1. 間宮聡夫・野川春夫 編著「スポーツイベントのマーケティング」市村出版 2010年9月

#### 〈論文〉

1. Isao Okayasu, Yukio Kawahara, & Haruo Nogawa: “The relationship between community sport clubs and social capital in Japan: A comparative study between the comprehensive community sport clubs and the traditional community sports clubs” *International Review for the Sociology of Sport*, Vol. 45(2), pp. 163-186, 2010.
2. Isao Okayasu, Haruo Nogawa & Duarte B. Morais: “Resource Investments and Loyalty to Recreational Sport Tourism Event” *Journal of Travel & Tourism Marketing*, 27: 6, pp. 565-578, 2010.
3. 山口志郎・野川春夫・北村 薫・山口泰雄: 「スポーツイベントのスポンサーシップにおけるスポンサーフィットに関する研究: Gwinner and Bennett モデルの検証」*スポーツマネジメント研究*, Vol. 2, No. 2, pp. 147-161. 2010年12月
4. 山口志郎・野川春夫・山口泰雄: 「総合型地域スポーツクラブにおけるボランティアマネジメントに関する研究—設立形態が異なる3クラブに着目して」*兵庫体育・スポーツ科学*, Vol. 19, pp. 33-41. 2010年
5. 安光達雄・野川春夫: 「業間中休みを使ったコーディネーションプログラムの効果—素早い動きに注目して—」*スポーツパフォーマンス研究*, 2, pp. 233-245, 2010.

#### 〈翻訳〉

1. 川西正志・野川春夫 監訳: 「ヨーロッパ諸国のスポーツクラブ—異文化比較のためのスポーツ社会学」市村出版 2010年2月

#### 〈その他〉

1. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第5回単著 月刊体育施設, 1月号, pp. 42-43. 2010年1月
2. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第6回

- 単著 月刊体育施設, 3月号, pp. 26-27. 2010年3月
3. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第7回  
単著 月刊体育施設, 5月号, pp. 38-39. 2010年5月
4. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第8回  
単著 月刊体育施設, 7月号, pp. 38-39. 2010年7月
5. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第9回  
単著 月刊体育施設, 9月号, pp. 52-53. 2010年9月
6. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第10回  
単著 月刊体育施設, 11月号, pp. 40-41. 2010年11月

## 〈学会発表〉

1. 「指定管理者制度下における公共スポーツ施設利用者の満足度」  
発表者: 高橋季絵・太田あやこ・渡辺泰弘・野川春夫  
第61回日本体育学会, 中京大学, 2010年9月9日
2. 「保健室利用を減少させるコーディネーションプログラム—中休みに着目して—」  
発表者: 安光達雄・野川春夫  
第61回日本体育学会, 中京大学, 2010年9月8日
3. 「総合型地域スポーツクラブにおける事業フレームの構築について」  
発表者: 舟木泰世・野川春夫  
第61回日本体育学会, 中京大学, 2010年9月10日
4. 「公共スポーツ施設の従業員の労働条件と職務満足度(ES)」  
発表者: 金子 健・野川春夫  
第12回日本生涯スポーツ学会, 仙台大学, 2010年10月24日
5. 「青少年のスポーツにおける勝利至上主義は何故いけないのか?」  
発表者: 加賀田亜子・野川春夫  
第12回日本生涯スポーツ学会, 仙台大学, 2010年10月24日
6. 「業間休みに行うコーディネーションプログラムの有効性—保健室利用状況に着目して—」  
発表者: 安光達雄・野川春夫  
第12回日本生涯スポーツ学会, 仙台大学, 2010年10月23日
7. 「スポーツ立国戦略から見る今後の総合型地域スポーツクラブ」  
発表者: 舟木泰世・野川春夫  
第12回日本生涯スポーツ学会, 仙台大学, 2010年10月23日
8. 「サッカーイベントスポンサーの企業イメージについて—古河市マスターズサッカー大会を事例に—」  
発表者: 佐藤 司・手島由貴・溝部真治・舟木泰世・渡辺泰弘・高橋季絵・野川春夫  
第12回日本生涯スポーツ学会, 仙台大学, 2010年10月23日

9. 「男性サッカー愛好者における女性の性役割に対する意識について—古河市マスターズサッカー大会を事例に—」  
発表者: 干台奈緒・寒河江 核・蜂須賀雅典・舟木泰世・渡辺泰弘・高橋季絵・野川春夫  
第12回日本生涯スポーツ学会, 仙台大学, 2010年10月23日
10. 「日本のスポーツ政策における「子どもの体力向上」への政策課題」  
発表者: 川西正志・北村尚浩・萩 裕美子・野川春夫  
第12回日本生涯スポーツ学会, 仙台大学, 2010年10月23日
11. 「マラソンランナーの参加動機と Push-Pull 要因に関する研究: NAHA マラソンにおける県内・県外参加者に着目して」  
発表者: 山口志郎・佐々木朋子・山口泰雄・野川春夫  
第3回日本スポーツマネジメント学会, 神奈川大学, 2010年10月31日
12. Tidal Wave of Chinese Tourist —New “Look East” Sport Tourism Policy—  
Yasuhiro Watanabe, Haruo Nogawa  
North America Society of Sport Sociology Congress 2010 Oral Presentation  
November 5, 2010. San Diego, California, U.S.A.
13. Building a sport industry network in Asia ~Inbound Sport Tourists to Japan~  
Haruo Nogawa, Yasuhiro Watanabe  
Keynote Lecture, International Symposium on Sport Industry and Sport Science.  
December 3, 2010. Hanyan University, Seoul, Korea.

## 【先任准教授】

大友 泰司

著書

『高校日本史に出てくる・歴史有名人の裏話』, p88~p103 2010, 11, 13  
新人物往来社

神原 直幸 提出なし(報告事項なし)

西村 英俊

〈学術論文〉

西村英俊・奥野 浩:

「さくらキャンパスネットワークの更新」

『順天堂スポーツ健康科学研究』1(3): 396-398, 2010

## 水野 基樹

## 【書籍】

『Ergonomic Trends from the East』

CRC Press, Taylor &amp; Francis Group, London October, 2010

Editors: Masaharu KUMASHIRO

「Difference of the relationship between coping and burnout with respect to Typus Melancholicus and other personalities: A study of Japanese nurses」(pp. 173-178)

Authors: Yamada Y, Hirosawa M, Sugiura M, Kawata Y, Mizuno M

「Effect of goal orientation on the relationship between perceived competence and achievement motivation among high competitive level Japanese university track and field athletes」(pp. 161-166)

Authors: Kawata Y, Yamada Y, Sugiura M, Tanaka S, Mizuno M, Hirosawa M

「Relationship between depersonalization and self-perceived medical errors」(pp. 167-172)

Authors: Sugiura M, Hirosawa M, Okada A, Aida H, Yamada Y, Mizuno M

『Ergonomics for All: Celebrating PPCOE's 20 years of excellence』CRC Press, Taylor &amp; Francis Group, London November, 2010

Editors: Dyi-Yih Michael Lin, Hsieh-Ching Chen

「The link between systemizing, one characteristic of the male brain, and persistence in acquiring skills in sports」(pp. 363-367)

Authors: Kawata Y, Oki K, Yamada Y, Kaneko I, Mizuno M, Tanaka S, Hirosawa M

「Development of multiple roles map program for the enhancement of self-understanding」(pp. 369-373)

Authors: Yamada Y, Hochi Y, Kawata Y, Oki K, Mizuno M, Hirosawa M

「Relationship between depersonalization and experience of filling out incident report」(pp. 533-537)

Authors: Sugiura M, Hirosawa M, Aiba H, Okada A, Mizuno M, Yamada Y, Kawata Y, Ihara H, Kobayashi Y

## 【論文】

「総合病院における看護師レジリエンス尺度の作成および信頼性・妥当性の検討」『精神医学』2010年, 第52巻, 第8号, 785-792頁

研究者: 尾形宏行, 井原 裕, 犬塚 彩, 多田則子, 水野基樹

「大学生アスリートを対象としたチームビルディングに関する事例研究」『順天堂スポーツ健康科学研究』2010年, 第2巻, 第1号, 28-34頁

研究者: 芳地泰幸, 水野基樹

## 【学会発表 海外】

「A study of the interface between athletic-academic-social roles among student-athletes in Japan」Human Ergology Society『Program and abstract of International Conference for the 40th Anniversary of Human Ergology Society』Jun, 2010, pp. 47-48.

Authors: Yamada Y, Mizuno M, Hochi Y, Hirosawa M

「The “reading mind in the eyes” test: Application to Japanese university students」Human Ergology Society『Program and abstract of International Conference for the 40th Anniversary of Human Ergology Society』Jun, 2010, pp. 29-30.

Authors: Kawata Y, Hiruta H, Oki K, Yamada Y, Tanaka S, Mizuno M, Hirosawa M

「Effects of organizational development on the psychological aspects among university students」Human Ergology Society『Program and abstract of International Conference for the 40th Anniversary of Human Ergology Society』Jun, 2010, pp. 39-40.

Authors: Hochi Y, Yamada Y, Mizuno M

「The link between systemizing, one characteristic of the male brain, and persistence in acquiring skills in sports」

The 9<sup>th</sup> Pan-Pacific conference on Ergonomics『Proceedings of The 9<sup>th</sup> Pan-Pacific conference on Ergonomics November 7-10, 2010 Ambassador Hotel Kaohsiung, Taiwan』(CD-ROM) 総4頁

Authors: Kawata Y, Oki K, Yamada Y, Kaneko I, Mizuno M, Tanaka S, Hirose M

「**Relationship between depersonalization and experience of filling out incident report**」 The 9<sup>th</sup> Pan-Pacific conference on Ergonomics 『Proceedings of The 9<sup>th</sup> Pan-Pacific conference on Ergonomics November7-10,2010 Ambassador Hotel Kaohsiung, Taiwan』(CD-ROM) 総5頁  
 Authors: Sugiura M, Hirose M, Aiba H, Okada A, Mizuno M, Yamada Y, Kawata Y, Ihara H, Kobayashi Y

「**Development of the Multiple Roles Map Program for the enhancement of self-understanding**」 The 9<sup>th</sup> Pan-Pacific conference on Ergonomics 『Proceedings of The 9<sup>th</sup> Pan-Pacific conference on Ergonomics November7-10,2010 Ambassador Hotel Kaohsiung, Taiwan』(CD-ROM) 総5頁  
 Authors: Yamada Y, Hochi Y, Kawata Y, Oki K, Mizuno M, Hirose M

「**A study of eating disorder among nurses of university hospitals in Japan**」 The 9<sup>th</sup> Pan-Pacific conference on Ergonomics 『Proceedings of The 9<sup>th</sup> Pan-Pacific conference on Ergonomics November7-10,2010 Ambassador Hotel Kaohsiung, Taiwan』(CD-ROM)  
 Authors: Oki K, Sugiura M, Yamada Y, Horino A, Mizuno M, Hirose M

【学会発表 国内】

「**大学病院に勤務する看護師の摂食障害に関する研究**」 人類働態学会『人類働態学会 会報』第92号2010年, 23-24頁  
 研究者: 沖 和砂, 杉浦 幸, 山田泰行, 堀野 歩, 水野基樹, 広沢正孝

「**大学生アスリートにおけるフォローアップの研究-監督へのナラティブ・アプローチを通して-**」 人類働態学会『人類働態学会 会報』第92号2010年, 33-34頁  
 研究者: 稲葉健太郎, 水野基樹

「**ワーク・ファミリー・コンフリクトの個人差に関する研究: 女性看護師の課題強力性と対人弱力性に着目して**」 産業保健人間工学『産業保健人間工学第15回大会抄録集』2010年, 48-51頁  
 研究者: 山田泰行, 水野基樹, 広沢正孝

「**多重役割マップ(MRM)の作成が大学生競技者にもたらす心理的效果**」 日本体育学会『日本体育学会第61回大会予稿集』2010年, 104頁  
 研究者: 山田泰行, 水野基樹, 川田裕次郎, 芳地泰幸, 広沢正孝

「**大学教育における組織開発の体験が大学生にもたらす効果に関する研究**」 初年次教育学会『初年次教育学会第3回大会発表要旨集』2010年, 108-109頁  
 研究者: 水野基樹, 山田泰行, 芳地泰幸, 住田暁弘, 北森義明

「**寮生活を送る大学生競技者における多重役割マップの特徴-入寮後6ヶ月の新入生を対象として-**」 日本スポーツ心理学会『日本スポーツ心理学会第37回大会研究発表抄録集』2010年, 26-27頁  
 研究者: 山田泰行, 水野基樹, 川田裕次郎, 沖 和砂, 芳地泰幸, 広沢正孝

「**体育系大学生の目標志向性に関する研究-学習領域とスポーツ領域の目標志向性を比較して-**」 日本スポーツ心理学会『日本スポーツ心理学会第37回大会研究発表抄録集』2010年, 110-111頁  
 研究者: 沖 和砂, 水野基樹, 広沢正孝

「**日本の大学生スポーツチームにおけるCEQSの有効性に関する研究**」 日本スポーツ心理学会『日本スポーツ心理学会第37回大会研究発表抄録集』2010年, 114-115頁  
 研究者: 芳地泰幸, 中山貴太, 山田泰行, 水野基樹

「**国民体育大会の開催が地域住民に与える影響に関する研究 -地域コミットメントに着目して-**」 人類働態学会東日本地方会『人類働態学会会報』2010年, 第93号, 9頁  
 研究者: 前嶋 充, 宇都宮大祐, 鈴木美帆子, 船岡菜々子, 星 森人, 芳地泰幸, 水野基樹

「**日本におけるチーム効力感尺度開発の試み -大学スポーツチームを対象に-**」 人類働態学会東日本地方会『人類働態学会会報』2010年, 第93号, 10-11頁  
 研究者: 芳地泰幸, 中山貴太, 山田泰行, 水野基樹

「**運動習慣とストレスに関する事例研究 -千葉県Y市民を対象にして-**」 人類働態学会東日本地方会『人類働態学会会報』2010年, 第93号, 12-13頁

研究者：本田勇輝，菅又雄太郎，水澤 隆，芳地泰幸，水野基樹

「乗合バス事業における改善の提案 —ユニバーサルデザインの視点から—」人類働態学会東日本地方会『人類働態学会会報』2010年，第93号，14頁

研究者：美山拓矢，石川慎二，高橋 優，芳地泰幸，水野基樹

#### 日本人間工学会第51回大会

公募ワークショップ「公共施設の間人工学におけるロードマップ」

司会：小木和孝，榎原 毅

「人間工学ロードマップの意義について」日本人間工学会『日本人間工学会誌』第46巻特別号（日本人間工学会第51回大会講演集），52-53頁，2010年.

話題提供者：水野基樹

#### 【その他】

「企業に生かすスポーツ心理学(26)—ピグマリオン効果とゴーレム効果—」『労働の科学』労働科学研究所，第65巻5号，53頁，2010年.

「企業に生かすスポーツ心理学(27)—「褒める」と「叱る」のメカニズム—」『労働の科学』労働科学研究所，第65巻6号，37頁，2010年.

「企業に生かすスポーツ心理学(28)—レジリエンス—」『労働の科学』労働科学研究所，第65巻7号，41頁，2010年.

#### 山田 満

##### 〈学会発表〉

イベントブースへの再訪やガイドの有無が来訪者のパーセプション変化に及ぼす影響について

2010年3月イベント学会

##### 〈研究論文〉

イベントブースへの再訪やガイドの有無が来訪者のパーセプション変化に及ぼす影響について

2010年6月イベント学会公式ウェブサイト内「学会発表論文」に掲載.

2009年本学の箱根駅伝のメディア露出の計測と広告費換算—2007~2009年の総合分析—

順天堂大学スポーツ科学研究，2010年4月，第1巻4号，p508-516

##### 〈学内調査・報告〉

2009年度学生生活満足度調査報告

順天堂大学スポーツ健康科学研究，2010年3月，第1巻サプリメント，p1-9

##### 〈その他〉

マーケティングコミュニケーションビジネス実践研究

実施企業名：シルバー精工（2010年2月），大丸・松坂屋（2010年4月），龍角散（2010年5月），ハーバー研究所（2010年9月）

社会人基礎力育成グランプリ2011

「関東地区大会」関東地区奨励賞

経済産業省主催，2010年11月，日経ホール

以上

#### 【准教授】

金子 育世

An experimental study of English emotional prosody among Japanese college students

Ikuyo Kaneko

順天堂スポーツ健康科学研究第1巻第3号（通巻15号）

385-395, 2010. 3

An analysis of emotional expressions in English letters by L1 and L2 writers

Ikuyo Kaneko

ISFC 37 (The 37th International Systemic Functional Congress) Program 71-72, 2010. 7

English Proficiency of Japanese Learners and the Analysis of Production Patterns of Interstress Intervals (日本人学習者の英語習熟度と interstress interval の生成パターン分析)

Michiko M. Sudo & Ikuyo Kaneko

大学英語教育学会第49回全国大会要綱122-123, 2010. 9

The link between systemizing, one characteristic of the



**male brain, and persistence in acquiring skills in sports**  
Yujiro Kawata, Kazusa Oki, Yasuyuki Yamada, **Ikuyo Kaneko**, Motoki Mizuno, Sumio Tanaka, & Masataka Hirose

Ergonomics for All: Celebrating PPCOE's 20 years of excellence (Taylor & Francis Group, London) 363-367, 2010. 11

**英語における感情的プロソディと感情表現—学習者と母語話者との比較**

金子育世

Theory of Information Culture 9 (情報文化論第9巻) 11-30, 2010. 12

### 〔Ⅲ. 健康学科〕

#### 【教授】

大津 一義

22年度業績

著書

・門田新一郎, 大津一義編著, 新版学校保健, 大学教育出版, 2010

NPO 法人日本健康教育士養成機構編, 新健康教育—健康の保持増進への道—, 2010, 保健同人社

論文

・大津一義; 「いきる力」の基礎である豊かな心を育てる具体的手立てを!, 心の健康シリーズV 学校とメンタルヘルス, 1-5, 日本精神衛生会, 2010

報告

・滝瀬敬二, 大津一義, 高齢者介護予防教室の健康運動プログラムの在り方に関する研究, 順天堂スポーツ健康科学研究, 第2巻, 1号 (通算55号), 40-42, 2010. 10

・永野忠仁, 大津一義, 生活習慣改善のための効果的な保健授業の進め方に関する研究, 順天堂スポーツ健康科学研究, 第2巻, 1号 (通算55号), 43-46, 2010. 10

講演

・特別記念講演「実践からはじめる糖尿病など生活習慣病におけるライフスキル」Life Skills for Living with Diabetes and Other Lifestyle-related Diseases, 神戸女子大学創立70周年記念事業国際学術交流シンポジウム, 抄録集, 3-19, 2010. 11. 6

講師・助言

・「健康な学校づくり—Part 2. 豊かな心を育てる具体的

手立て—, 平成22年度保健・安全教育研修講座, 青森県総合学校教育センター, 2010. 10. 25.

・教育講演「青少年の危険行動と行動変容を促す教育手法」第20回アルコール健康教育研修会資料, 22-30, 健康行動教育科学研究会, 2010. 8. 20

・「養護教諭のこれから—Part. 2 豊かな心を培うキーパーソンとして—, 第48回東葛飾地区養護教諭研究発表会, 8-10, 東葛飾地区養護教諭会, 2010. 12. 1

・心の健康 (指導者が身に付ける指導法), 健康ウォーキング指導士育成講座, 2010. 8. 28, 日本ウォーキング協会

・「ヘルシースクール推進の成果と課題」, 学校保健公開研究会, 千葉県教育委員会研究指定, 研究のあゆみ, 体育科 (保健)・学級活動指導案, 成田市立前橋小学校, 2010. 11. 17

・「元気いっぱい生き生きと学ぶ東っこ」, 平成22年度第2回授業研究会, 船橋市教育委員会指定 健康教育, 船橋市立芝山東校, 2010. 9. 30

ワークショップ・学会発表

・大津一義他, 第57回日本学校保健学会, ワークショップコーディネーター「豊かな心を培うための健康教育」, 学校保健研究, Vol. 52, Suppl., 146-147, 2010

・坂元美子, 松本衣代, 梶原苗美, 大津一義, スポーツクラブに属している成長期の生徒を対象にした食事摂取状況と体格等との検討, 学校保健研究, Vol. 52, Suppl., 181, 2010

・白石孝久, 山田浩平, 山羽教文, 深澤 清, 前上里直, 山本澄子, 大津一義, 小学校におけるデス・エデュケーションの教育内容構成に関する研究, 学校保健研究, Vol. 52, Suppl., 202, 2010

・山羽教文他, スポーツマンシップ教育の進め方に関する研究, 学校保健研究, Vol. 52, Suppl., 217, 2010

・深澤 清, 上野美保, 高橋伸佳, 大津一義, 青少年にとっての理想的な居住空間の在り方に関する研究—相反する2つの宿泊施設の比較を通して—, 学校保健研究, Vol. 52, Suppl., 218, 2010

・岩崎順子, 大津一義, 齋藤裕子, 中西 規, ケーススタディーにおける人間関係図の活用の仕方について—その4. 子どもの活用を通して—, 学校保健研究, Vol. 52, Suppl., 24, 2010

・荒井裕見子, 萱野あかね, 大津一義, ヘルシースクールの展開—心の健康づくり「自己認識スキル形成」を通して—, ワークショップ, 校保健研究, Vol. 52, Suppl., 311, 2010

・倉上洋行, 大津一義, 山本澄子, ICTを活用した出席管理における健康観察の試み, 学校保健研究, Vol. 52,

Suppl., 312, 2010

- 前上里直, 山田浩平, 山羽教文, 大津一義, 保健学習における情意領域の評価に関する研究, 学校保健研究, Vol. 52, Suppl., 287, 2010
  - 井上 幸, 山本澄子, 小野 隆, 犬飼かおり, 倉上洋行, 佐野喜子, 大津一義, 看護師の離職要因に関する研究, 第14回千葉県学校保健学会講演集, 2010
  - 深澤清他, ウォーキングを中等教育の特別活動で実施する場合の課題について—3グループの比較実験を通して, 第14回千葉県学校保健学会講演集, 2010
  - 小泉智子, 大津一義, 上野美保, 鴨志田裕子, フットサル選手に対する効果的な栄養教育の進め方, 第14回千葉県学校保健学会講演集, 2010
  - 小野 隆, 前上里直, 井上 幸, 佐野喜子, 倉上洋行, 大津一義, 介護予防教室における参加者ニーズに関する研究, 第14回千葉県学校保健学会講演集, 2010
  - 飯野普二, 小松健一, 大津一義, 生活習慣改善のための学級活動の展開の仕方—「おやつのとりにかた」, 第14回千葉県学校保健学会講演集, 2010
- の意志決定スキル形成に着目して, 第14回千葉県学校保健学会講演集, 2010
- 黒崎宏一, 大津一義 (健康教育ネットワーク委員会), ワークショップ「食事のバランス学習に効果的なアクティビティ教材の開発」, 第14回千葉県学校保健学会講演集, 2010
  - 山本澄子, 倉上洋行, 牛尾直行, 大津一義, 看護師志望学生の喫煙とセルフエステームとの関係, 第14回千葉県学校保健学会講演集, 2010
  - 鴨志田裕子, 黒崎宏一, 佐野喜子, 大津一義, 栄養バランスを理解するのに有効な教材開発, 第14回千葉県学校保健学会講演集, 2010
  - 藤巻正哉, 黒崎宏一, 大津一義, 栄養バランスを考える力を培う教材の工夫  
第14回千葉県学校保健学会講演集, 2010

新聞・冊子

- 前上里直, 大津一義, 心の健康ニュース, エゴグラム(自分の心の働き)を見てみよう, No. 358. 2010. 7 少年写真新聞社
- 山田浩平, 大津一義, 心の健康ニュース, 「ジョハリの窓」からみえてくる本当の自分, No. 359. 2010. 8, 少年写真新聞社
- 大津一義監修, 健康ドリル「日頃運動をほとんどしない30~49歳女性が, 1日に必要とする摂取エネルギー量の目

安は, 次のうちどれ?」, 4月号, 19, 笑顔, 2010

- 大津一義監修, 健康ドリル「運動を始めてから, 体脂肪の燃焼が活発になるまでにかかる時間はどのくらい?」, 5月号, 19, 笑顔, 2010
- 大津一義監修, 健康ドリル「次の食品100gのうち, カルシウムの含有量が最も多いのはどれ?」, 6月号, 19, 笑顔, 2010
- 大津一義監修, 健康ドリル「腰に負担のかかる動作は?」, 7月号, 19, 笑顔, 2010
- 大津一義監修, 健康ドリル「成人1日あたりの野菜摂取の目標量はどれ?」, 8月号, 19, 笑顔, 2010
- 大津一義監修, 健康ドリル「飲料や食品の「カロリーゼロ」表示について, 正しい内容はどれ?」, 9月号, 19, 笑顔, 2010
- 大津一義監修, 健康ドリル「成人女性で運動習慣を持っている人の割合は次のどれ?」10月号, 19, 笑顔, 2010
- 大津一義監修, 健康ドリル「運動をするときに適した服装は?」, 11月号, 19, 笑顔, 2010
- 大津一義監修, 健康ドリル「茶碗かるく1杯分のごはん(100g)とほぼ同じエネルギー(kcal)のお酒は?」12号, 19, 笑顔, 2010
- 大津一義監修, 健康ドリル「脚の筋力の衰えを防ぐのに最も効果的な動作はどれ?」1月号, 19, 笑顔, 2011
- 大津一義監修, 健康ドリル「体内で鉄分の吸収を助ける栄養素は?」2月号, 19, 笑顔, 2011
- 大津一義監修, 健康ドリル「有酸素運動をするのに適した時間帯は?」3月号, 19, 笑顔, 2011

## 島内 憲夫

座長

① 平成22年度全国養護教諭研究大会(平成22年8月19日:徳島県)のシンポジウム「生きる力をはぐくむ健康教育の推進と養護教諭の役割」の座長を務める。

② 第8回日本ヘルスプロモーション学会・学術大会(平成22年12月11日:福岡市)のシンポジウム「家庭・学校・地域を繋ぐヘルスプロモーション活動」の座長を務める。

論文

島内憲夫・鈴木美奈子:巻頭言, ヘルスプロモーション・リサーチ Vol. 3 No. 1, 2-4, 2010.

島内憲夫・鈴木美奈子:保健医療社会学の学説史に見られる健康社会学の萌芽~保健医療社会学の方法論的諸論点

(上) ～, ヘルスプロモーション・リサーチ Vol. 3 No. 1, 05-12, 2010.

Naoko Okubo, Junko Ishizaki, Norio Shimanouchi, Hiromi Kawagoe: Health Education Booklets for the Middle Aged, Health Promotion Research, Vol. 3 No. 1, 13-25, 2010.

Hiroko Yako-Suketomo, Yutaka Inaba, Norio Shimanouchi: Factors impact administrator's health and satisfaction with the health promotion planning process, Health Promotion Research, Vol. 3 No. 1, 26-37, 2010.

堀 弘明・島内憲夫: 脳梗塞(初発)患者の再発防止に関する研究～ヘルスプロモーションの概念を活かした理学療法の可能性～ヘルスプロモーション・リサーチ Vol. 3 No. 1, 38-46, 2010.

#### 学会発表

鈴木美奈子・島内憲夫: ヘルスプロモーションとCSRの関連について, 日本ヘルスプロモーション学会・第8回学術大会・総会抄録集, 23, 2011年.

島内憲夫・鈴木美奈子: ヘルスプロモーションの基礎学としての健康社会学の方法に関する研究—10人の諸先達の方法論的諸論点—, 日本ヘルスプロモーション学会・第8回学術大会・総会抄録集, 23, 2011年.

木野志保・島内憲夫: 児童の歯科保健行動の規定要因に関する研究—保護者の歯科保健行動との関連と地域比較による検討—, 日本ヘルスプロモーション学会・第8回学術大会・総会抄録集, 24, 2011年.

内山孝夫・島内憲夫: ヘルスプロモーションの観点を活かした介護予防事業修了者へのフォローアップ—身体と精神に与える影響を中心として—, 日本ヘルスプロモーション学会・第8回学術大会・総会抄録集, 24, 2011年.

石津仁奈子・島内憲夫: 看護師の職業継続要因に関する研究—主観的幸福感と主観的健康観との関係を中心として—, 日本ヘルスプロモーション学会・第8回学術大会・総会抄録集, 25, 2011年.

#### 中村 勝二

##### 〔論文〕

渡邊貴裕, 橋本創一, 菅野敦, 中村勝二. 知的障害児の投動作の指導に関する研究, 東京学芸大学教育実践研究支援センター紀要, 第6集, 89-95, 2010. 3

##### 〔研究報告〕

磯貝公男, 中村勝二. 特別支援学校における知的障害者

への就労支援に関する一考察—特例子会社のニーズをもとに一, 順天堂大学スポーツ健康科学研究, 第2巻第2号, 70-73, 2010. 11

横塚千裕, 中村勝二. 小学校のニーズに応じた特別支援学校のセンター的機能の検討 順天堂大学スポーツ健康科学研究, 第2巻第3号, 113-116, 2010. 12

##### 〔学会発表〕

渡邊貴裕, 尾高邦生, 橋本創一, 菅野 敦, 中村勝二. 特別支援学校の保健体育に関する実践史の検討①—東京学芸大学特別支援学校における過去47年間の保健体育指導の変遷—, 日本特殊教育学会第48回大会論文集, 433, 2010. 9

渡邊貴裕, 尾高邦生, 橋本創一, 菅野 敦, 中村勝二. 特別支援学校の保健体育に関する実践史の検討②, 日本発達障害学会第45回大会論文集, 168-169, 2010. 9

#### 広沢 正孝

##### 【著書】

1) Kawata, Y., Yamada, Y., Sugiura, M., Tanaka, S., Mizuno, M., Hirosawa, M.: Effect of goal orientation on relationship between perceived competence and achievement motivation among high competitive level Japanese university track and field athletes. Ergonomic trends from the East, pp161-165, CRC Press/Balkema, Leiden, 2010.

2) Sugiura, M., Hirosawa, M., Okada, A., Aida, H., Yamada, Y., Mizuno, M.: Relationship between depersonalization and self-perceived medical errors. Ergonomic trends from the East, pp167-171, CRC Press/Balkema, Leiden, 2010.

3) Yamada, Y., Hirosawa, M., Sugiura, M., Yujiro, Mizuno, M.: Difference of the relationship between coping and burnout with respect to Typus melancholicus and other personalities: A study of Japanese nurses. Ergonomic trends from the East, pp173-177, CRC Press/Balkema, Leiden, 2010.

4) 広沢正孝: 非定型精神病(統合失調感情障害を含む). 今日の精神科治療ガイドライン2010年版, pp98-99, 星和書店, 東京, 2010.

5) 広沢正孝: 成人の高機能広汎性発達障害とアスペルガー症候群. 医学書院, 東京, 2010.

## 【論文】

- 1) 山田泰行, 丘 康大, 川田裕次郎, 水野基樹, 広沢正孝: 大学生競技者のネガティブスピルオーバーと抑うつとの関連性. 順天堂医学, 55; 502-510, 2009. (前回報告後に掲載)
- 2) Yamada, Y., Hirose, M.: Does Typus Melancholicus determine characteristics of athlete burnout symptoms and its process among Japanese athletes? Journal of Human Ergology, 39; 67-79, 2009. (前回報告後に掲載)
- 3) 広沢正孝: 夢幻様体験型の精神病理と臨床. 精神科治療学, 25; 484-489, 2010.
- 4) 濱中敦子, 広沢正孝: スポーツ系大学生における食行動と主観的健康に関する研究. 順天堂スポーツ健康科学研究, 2; 15-17, 2010.

## 【その他】

- 1) 広沢正孝: 精神医学模擬問題. 日本精神保健福祉士養成校協会編集, 精神保健福祉士国家試験過去問解説+模擬問題2011. pp396-397, pp430-434, 中央法規, 東京, 2010.
- 2) 広沢正孝: 統合失調症を理解しよう—職場の仲間や家族のために. 順天堂精神医学研究所, 越谷, 2010.

## 【学会抄録・講演】

- 1) 沖和砂, 杉浦 幸, 山田泰行, 堀野 歩, 水野基樹, 広沢正孝: 大学病院に勤務する看護師の摂食障害に関する研究. 人類動態学会第45回大会抄録集, p23, 2010.
- 2) 広沢正孝: 基調講演; 高齢者の精神保健—日本人の心性とうつ病を中心に. 第95回いわき心身医学懇話会, 2010.
- 3) 高子真吾, 加部 勇, 利根川豊子, 鶴岡寛子, 池田啓一, 雨宮裕子. 広沢正孝, 岩井秀明: 運動種別による動脈硬化マーカーへの予防・改善効果についての検討. 第80回日本衛生学会学術総会講演集, p259, 2010.
- 4) 山田 泰, 水野基樹, 川田裕次郎, 芳地泰幸, 広沢正孝: 多重役割マップ (MRM) の作成が大学生競技者にもたらす心理的効果. 第61回日本体育学会予稿集, p104, 2010.
- 5) 川田裕次郎, 沖 和砂, 山田泰行, 田中純夫, 広沢正孝: スポーツ選手における脳の性差—Empathizing-Systemizing 理論からの接近—. 日本体育学会第61回大会予稿集. p123, 2010.
- 6) 沖 和砂, 上野朋子, 川田裕次郎, 山田泰行, 形本静夫, 広沢正孝: サイクリングと精神的健康の関連について.

て. 日本体育学会第61回大会予稿集, p308, 2010.

- 7) Yamada, Y., Mizuno, M., Hoci, Y., Hirose, M.: A Study of the Interface between Athletic-Academic-Social Roles among Student-Athletes in Japan. International Conference for 40th Anniversary of Human Ergology Society, pp47-48, 2010.
- 8) Kawata, Y., Hiruta, H., Oki, K., Yamada, Y., Tanaka, S., Mizuno, M., Hirose, M.: The “Reading Mind in the Eyes” test: Application to Japanese university students. International Conference for 40th Anniversary of Human Ergology Society, pp 29-30, 2010.
- 9) Sugiura, M., Hirose, M., Aida, H., Okada, A., Misuno, M., Yamada, Y., Kawata, Y., Ihara, H., Kobayashi, Y.: Relationship between depersonalization and experience of filling out incident report. International Conference for 40th Anniversary of Human Ergology Society, pp 533-537, 2010.
- 10) 山田泰行, 水野基樹, 川田裕次郎, 芳地泰幸, 広沢正孝: 寮生活を送る大学生競技者における多重役割マップの特徴—入寮後6ヶ月の新入生を対象として. 日本スポーツ心理学会第37回大会研究発表抄録集. pp26-27, 2010.
- 11) 沖 和砂, 水野基樹, 広沢正孝: 体育系大学生の目標志向性に関する研究—学習領域とスポーツ領域の目標志向性を比較して—. 日本スポーツ心理学会第37回大会研究発表抄録集, pp110-111, 2010.
- 12) 那須野歩, 川田裕次郎, 広沢正孝: スポーツ系大学の学生における離人症性障害の実態について. 日本スポーツ心理学会第37回大会研究発表抄録集, pp 194-195, 2010.
- 13) 広沢正孝: 講演; 青年～大人のこころの問題: 軽症うつ病, 適応障害など—精神科医の立場から. 順天堂医療看護学部第19回公開講座, 2010.
- 14) 広沢正孝: 特別講演; 『成人の高機能広汎性発達障害』—統合失調症との異同をめぐって—. 第56回岡山統合失調症研究会, 2010.
- 15) 広沢正孝: 特別講演; 改めて統合失調症を理解する. 第11回勤労者精神医療研究会, 2010.

## 細見 修

○第83回 日本分子生物学会, 日本生化学会合同大会

1. Suppressive activities of novel functional oligosaccharides against proliferation of human cancer cell  
ヒト由来培養がん細胞の増殖抑制に対する新しいオリゴ糖類の作用  
奈良岡佑南, 三澤義知, 又平芳春, 高子真吾, 池田啓一,

細見 修

2. Enzymatic synthesis of a novel functional oligosaccharide which contains GlcNHCl residue

生体内機能を持つ新しいグルコサミン含有オリゴ糖の合成  
細見 修, 三澤義知, 又平芳春, 渡邊永治, 奈良岡佑南, 笛 将悟, 大塚卓也, 池田啓一

3. Effect of chito-oligosaccharides on proliferation of the normal human skin fibroblast cell

キトオリゴ糖がヒト由来皮膚線維芽細胞の増殖に及ぼす影響  
三浦佳祐, 松井一樹, 樋渡 薫, 門傳聡史, 奈良岡佑南, 池田啓一, 細見 修

○International Academy of Sportology, 1st Congress, Tokyo, Japan

1. Aroma oils have an effect on the gene expression of enzymes that synthesize neurotransmitters.

K. Hiwatashi, S. Monden, T. Ohtuka, S. Fue, K. Matsui, K. Miura, O. Hosomi

2. Enzymatic Synthesis of a Novel Oligosaccharide by the Reverse Reaction of  $\alpha$ -Galactosidase and its Physiological Role(s).

O. Hosomi., Y. Misawa., Y. Matahira., Y. Naraoka., K. Ikeda., F. Yamakura

3. Effect of heat shock protein 70 on macrophage induced inflammatory cytokines.

Y. Naraoka, O. Hosomi, T. Kito, T. Yoneda

**山岸 明子**

**【論文】**

1. 山岸明子 罪悪感再考—4つの罪悪感をめぐって—  
順天堂大学医療看護研究, 6, 64-71.

2. 山岸明子・寺岡三左子・吉武幸恵 看護援助実習の受けとめ方と resilience (精神的回復力) 及び自尊心との関連  
順天堂大学医療看護研究, 6, 1-10.

3. 山岸明子 道徳性発達とジェンダーの問題—Kohlberg & Gilligan 理論再考  
順天堂スポーツ健康科学研究, 1-4,

449-456.

4. 丸山ちあき・山岸明子 大学生スポーツ選手が経験した受傷から復帰までの心理的变化  
整形外科看護, 15-6, 113-116.

**【学会発表】**

1. 山岸明子・寺岡三左子・吉武幸恵 看護実習の受けとめ方と実習前後の resilience, 自尊心との関連  
日本発達心理学会第21回大会論文集, 208.

2. 山岸明子・寺岡三左子 Resilience 及び自尊心と看護実習についての語りとの関連  
日本教育心理学会第52回総会論文集, 454.

3. 山岸明子 看護実習の受けとめ方と実習前後の Resilience, 自尊心との関連(2)  
日本健康心理学会第23回大会論文集, 81.

4. 山岸明子 大学生の Resilience と親の認知との関連—性差に着目して—  
日本パーソナリティ心理学会第19回大会論文集, 90.

**【先任准教授】**

**飯嶋 正博**

1) 千葉県心理リハビリテーション連絡会 ニュースレター No. 3 千葉県心理リハビリテーション連絡会  
1月31日 1-5p

2) 緊張をほぐす—動作法の視点から— 発達協会春のセミナーテキスト  
不安や緊張の高い子どもへの理解と支援 2月13日  
B-14-B-20p

3) 不器用な子どもの動きづくり 2—コミュニケーションとリラクゼーション—  
かもがわ出版 3月15日 131p

4) 習志野市市民カレッジ 講演会資料 5月22日 1p

5) 座位の見立てと訓練のポイント 千葉心理リハビリテーション連絡会第9回トレーナー研修会 資料 7月10日 1-3p

5) 千葉県立八日市場特別支援学校 研修会 資料 7月21日

6) 運動発達とその指導 発達障害実践セミナーテキスト 基礎から学ぶ発達障害 7月25日 2A-26-2A-33p

- 7) 実技研修会 千葉県立銚子特別支援学校 研修会  
資料 7月26日
- 8) 千葉市特殊教育連盟 研修会 資料 7月28日
- 9) 千葉県立東金特別支援学校 研修会 資料 7月29日
- 10) 千葉県ひまわり会 夏季研修会 (後援千葉県教育庁)  
資料 7月30日-8月1日
- 11) 市川なのはな会 夏季研修会 (後援千葉県教育庁)  
資料 8月6日-8月7日
- 12) 千葉県安房地区特殊教育連盟 研修会 資料 8月17日
- 13) 愛知県立岡崎特別支援学校 研修会 資料 8月20日
- 14) 千葉県さくらんぼの会 夏季研修会 8月22日-25日
- 15) 市川市特殊教育連盟 研修会 資料 8月26日
- 16) 発達障害およびコミュニケーションなどかかわりの不器用な子どもたちへの指導の工夫 福井県こども療育センター 情緒障害児対策事業 講演会資料 11月13日  
保護者向け 資料 1-5p 療育関係者向け 資料 1-8p
- 17) 動作体験における身体意識について—主体性とは—日本リハビリテーション心理学会 発表論文集 12月10日 30-31p
- 18) ことばや聞こえに問題を持つ子の動作および発達習志野市ことばを育てる親の会 動作法研修会 資料 12月14日 1p

### 牛尾 直行

#### 【著書】

樋口直宏・牛尾直行編著、『実践に活かす教育基礎論・教職論』(改訂初版), 学事出版, 2010年4月, 第2部「1. 教育制度と教育法」, 第3部「1. 教職の本質」担当執筆

#### 【報告書】

牛尾直行, 「奉仕体験学習の意義と評価」, 『研究紀要』(平成20年度文部科学省豊かな体験活動推進事業 平成21年度高校生の社会奉仕体験活動調査研究プロジェクト), 35-42, 東京都立足立東高等学校, 2010年3月

#### 【学会発表】

牛尾直行, 「インドにおけるクリーミーレイヤーの教育機会とマイノリティズム」, 日本教育制度学会大18回大会

自由研究発表, 山梨県立大学, 2010年11月14日

#### 【研究会報告】

牛尾直行, 「インドにおける教育を受ける権利の現代的諸相と複線型システム」, 南アジア教育科研第1回研究会, 2010年5月

### 田中 純夫

#### 【論文】

1. The link between systemizing, one characteristic of the male brain, and persistence in acquiring skill in sports. Yujiro Kawata, Kazusa Oki, Yasuyuki Yamada, Ikuyo Kaneko, Motoki Mizuno, Sumio Tanaka, & Masataka Hirotsawa Ergonomics for All Celebrating PPCOE's 20 years of excellence CRC Press 363-367, 2010.

2. The "Reading Mind in the Eyes" test: Application to Japanese University Students. Kawata, Y., Hiruta, H., Oki, K., Yamada, Y, Mizuno, M., Tanaka, S., & Hirotsawa, M. International Conference for the 40th Anniversary of Human Ergology Society 2010.

#### 【学会発表】

1. 保健体育の教員養成大学における専門性に着目した小学校との協働による児童の適応支援システムの構築に関する基礎的研究 田中純夫・山本真己・野老由佳・川田裕次郎・牛尾直行・北村 薫 日本スポーツ社会学会第19回大会抄録集 30-31

2. スポーツ選手における脳の性差 —Empathizing-Systemizing 理論からの接近 川田裕次郎・沖 和砂・山田泰行・田中純夫・広沢正孝 日本体育学会第61回大会予稿集 123

3. Establishing a School Support System for Children's School Adaptation in Elementary and Junior High Schools. Sumio TANAKA, Masaki YAMAMOTO, Ikuyo KANEKO, Yujiro KAWATA, Motoki MIZUNO, Kaoru KITAMURA International Ergonomics Association President's Newsletter No. 5 5 July 2010

#### 【その他】

教育相談講座「学校だからこそできる児童生徒理解とカウ

- ンセリング」『千葉教育』千葉県総合教育センター  
 第1回：児童生徒の行動傾向の変化と『キレル』行動の意味 (4・5月号 p32~33)  
 第2回：現代の環境は子どもの何を変えたのか? (6月号 p32~33)  
 第3回：現代のいじめ問題事情と被害者・加害者へのカウンセリング (7・8月号 p32~33)  
 第4回：学校教育相談における行動療法の適用と展開 (9月号 p32~33)  
 第5回：学校で使い易い解決志向ブリーフセラピィ (10月号 p32~33)  
 第6回：軽度発達障害の種類と見立て方～自閉症スペクトラムを中心に～ (11月号 p32~33)  
 第7回：軽度発達障害に対するカウンセリングの進め方 (12月号 p32~33)

### 中村 恭子

#### [原著]

中学校体育の男女必修化に伴うダンス授業の変容 —平成19年度, 20年度, 21年度および24年度の年次推移から—  
 中村恭子 鈷日本女子体育連盟学術研究, 26, pp1-16, 20010. 3.

中学校体育全領域必修化に伴うダンス授業の変容と展望 —東京都公立中学校を対象とした調査から— 中村恭子,  
 順天堂スポーツ健康科学研究, 1-4(16), pp472-485, 2010. 4.

#### [報告]

精神科デイケア通所の統合失調症患者を対象としたダンス・アクティビティの試み(4)—文化プログラムとの比較—  
 中村恭子, 廣澤正孝, 岩崎 香, 鈴木利人, 湯田京子, 吉田由美, 吉田理恵 病院・地域精神医学, 53-1, pp41-43, 2010. 7.

#### [編著書]

松本千代栄選集 第2期—研究編 安村清美, 中村恭子, 舞踊文化と教育研究会編, 明治図書出版, 東京, 2010. 3.

#### [専門誌]

変わるダンス教育と子どもたち 中村恭子, 女子体育52-6, pp4-5, 2010. 6.

キンダー・ポルカで自己紹介 ダンス指導ハンドブックⅡ 実践指導編リズムダンス・民踊・フォークダンス, 中村恭子, 女子体育52-7・8, pp50-51, 2010. 7.

ワルツに挑戦! 基本を覚えて自由に踊ろう ダンス指導ハンドブックⅡ実践指導編リズムダンス・民踊・フォークダンス, 中村恭子, 女子体育52-7・8, pp54-55, 2010. 7.

#### [学会発表]

学校体育でのダンス経験の変化とダンスイメージの変容 日本体育学会第61回大会予稿集 (名古屋), p278, 2010. 9.

精神科デイケア通所の統合失調症患者を対象としたダンス・アクティビティの試み(5)—他のスポーツプログラムとの比較— 中村恭子, 廣澤正孝, 岩崎 香, 鈴木利人, 湯田京子, 吉田理恵, 木内瑞絵, 輪島留美子 第53回日本病院・地域精神医学会総会抄録集 (東京), p98, 2010. 11.

#### [DVD]

人間発達とダンス・表現運動 授業の実際 幼児から大学生まで 中村恭子, 宮本乙女, 全国ダンス・表現運動授業研究会編, 2010. 3.

### 山本 澄子

#### I 学会発表

千葉県学校保健学会 第14回 看護師志望学生の喫煙とセルフエステームとの関係 (2010) 12.5

#### II 研究

1. 3月10日 新潟県日本医療福祉看護学校の学生を対象に, 禁煙教育を実施した.

1) 約120名の喫煙のアンケート調査を実施した (3月7日)

2) 50分禁煙教育を実施後50分で行動変容のワークシートを実施し, 行動計画を作成した. (120名)

3) 1週間後のアンケート調査を実施・行動計画を作成 (3月17日)

4) 1か月後のアンケート調査を実施・行動計画書を作成 (4月10日)

5) 3か月後のアンケート調査を実施・行動計画書を作成 (6月10日)

6) 6か月後のアンケート調査を実施・行動計画書を作成 (9月10日)

2. 3月18日 埼玉県武蔵野病院 看護師及び病院スタッ

フへ禁煙教育を実施した。

- 1) 約250名の喫煙のアンケート調査を実施した (3月11日)
  - 2) 50分禁煙教育を実施後50分で行動変容のワークシートを実施し、行動計画を作成した。(25名)
  - 3) 1週間後のアンケート調査を実施・行動計画書を作成 (3月25日)
  - 4) 1か月後のアンケート調査を実施・行動計画書を作成 (4月18日)
  - 5) 3か月後のアンケート調査を実施・行動計画書を作成 (6月18日)
  - 6) 6か月後のアンケート調査を実施・行動計画書を作成 (9月17日)
3. 6月11日 横浜市幸病院 看護師及び医師へ禁煙教育を実施した。
- 1) 看護師132名, 医師9名, コメディカル32名, へ喫煙のアンケート調査を実施した (6月7日)
  - 2) 50分禁煙教育を実施後50分で行動変容のワークシートを実施し、行動計画を作成した。(看護師18名, 医師5名, コメディカル12名)
  - 3) 1週間後のアンケート調査を実施・行動計画書を作成 (6月18日)
  - 4) 1か月後のアンケート調査を実施・行動計画書を作成 (7月11日)

#### 四方田 清

##### 【著書】

「精神保健福祉白書2011年版」, 共著, 精神保健福祉白書編集委員会編, pp48中央法規出版, 2010

##### 【報告】

「審査会活動に携わる精神保健福祉士の役割—全国調査から見えた現状と課題—」, 四方田清, 篠原由利子, 橋本みきえ, 順天堂スポーツ健康科学研究, 第1巻第3号 (通巻15号), pp440-446, 2010

##### 【論文】

「医療観察法における県内市町村の関与の現状について—医療観察法における市町村の役割に関する全国調査から—」, 共著, 精神保健シリーズ第40号, 千葉県精神保健福祉センター, pp40-46, 2010

##### 【教育活動】

- 「精神保健福祉士国家試験過去問解説+模擬問題2011」, 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会編, 編者, 中央法規出版, 2010
- 「精神保健福祉士全国统一模擬試験」, 日本精神保健福祉士養成校協会監修, 中央法規出版, 問題作成及び編者, 中央法規出版, 2010

##### 【講演】

- 「諸外国における精神障害者の地域生活支援」, 主催: NPO 法人成田・地域でともに歩む会かたつむり (2010. 2. 27)
- 「精神障害者の理解」, 平成21年度日常生活自立支援事業に係る生活支援員・担当者研修会, 主催: 千葉県社会福祉協議会 (2010. 3. 9)
- 「これからの精神保健福祉と家族会」, 平成21年度精神保健福祉家族会交流会, 主催: 千葉県印旛健康福祉センター (2010. 3. 15)
- 「自殺」, 千葉県精神障害者自立支援協議会総会, 主催: 社会福祉法人ワーナーホーム (2010. 5. 26)
- 「今, 地域で必要とされているサポートとは?」, 心の市民講座, 主催: 印西市社会福祉課 (2010. 6. 8)
- 「日本精神保健福祉協会の役割」, 基幹研修 in 千葉, 総武病院, 主催: 日本精神保健福祉士協会千葉県支部 (2010. 10. 31)

##### 【准教授】

#### 松山 毅

著書

- 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会監修『精神保健福祉士国家試験 過去問解説+模擬問題2011』中央法規出版 2010年5月
- 第12回精神保健福祉士国家試験「地域福祉論」解説と「地域福祉論」予想問題・解説を担当

論文

- 松山 毅・牛尾直行・菰田智恵子「地域を基盤とした福祉教育推進の現状と課題—千葉県内の社会福祉協議会へのアンケート調査から」順天堂大学スポーツ健康科学研究第1巻3号 (2010) p405-413

報告

- 松山 毅・鈴木鉄也「地域を基盤とした福祉教育推進に



関する現状と課題—千葉県福祉教育協力校および千葉県内市町村社協への調査結果を通して」第14回日本福祉教育・ボランティア学習学会 (2010. 11. 27)

### 【助教】

池田 啓一

#### 〈論文〉

血中ヒスチジン量と動脈硬化危険因子との相関関係 雨宮有子, 中島 滋, 加部 勇, 池田啓一, 信太直己, 山倉文幸, 河合祥雄, 形本静夫, 岩井秀明 日本未病システム学会雑誌, 16(1), 17-27, 2010

#### Mass spectrometric identification of tryptophan nitration sites of proteins in peroxynitrite treated PC12 cell lysates

Kawasaki, H., Ikeda, K., Shigenaga, A., Baba, T., Takamori, K., Ogawa, H., Yamakura, F. Free Radic. Biol. Med., 2010, in press

ペルオキシナイトライトとヒト組み換え銅・亜鉛 SOD の反応における炭酸水素イオンの影響 松本 孝, 山倉文幸, 池田啓一, 川崎広明 学苑—生活科学紀要—, 842, 41-44, 2010

#### 〈国内学会〉

運動により変化しやすい動脈硬化指標の探索 池田啓一, 高子真吾, 雨宮有子, 加部勇, 山倉文幸, 金子今朝秋, 濱野光之, 仲村明, 信太直己, 岩井秀明 第80回日本衛生学会総会, 平成22年5月

運動種別による動脈硬化マーカーへの予防・改善効果について 高子真吾, 加部勇, 鶴岡寛子, 利根川豊子, 池田啓一, 雨宮有子, 広沢正孝, 岩井秀明 第80回日本衛生学会総会, 平成22年5月

血中ヒスチジン比率と動脈硬化危険因子との相関関係におけるレプチンの影響 雨宮有子, 中島滋, 池田啓一, 加部

勇, 信太直己, 高子真吾, 山倉文幸, 河合祥雄, 形本静夫, 岩井秀明 第80回日本衛生学会総会, 平成22年5月

疾患モデル培養細胞の新規ニトロトリプトファン抗体を用いたニトロプロテオーム解析 川崎広明, 池田啓一, 重永綾子, 馬場猛, 小川秀興, 高森建二, 山倉文幸 第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会 合同大会, 平成22年12月

ヒト由来培養がん細胞の増殖抑制に対する新しいオリゴ糖類の作用 奈良岡佑南, 三澤義知, 又平芳春, 高子真吾, 池田啓一, 細見 修 第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会 合同大会, 平成22年12月

生体内機能を持つ新しいグルコサミン含有オリゴ糖の合成 細見 修, 三澤義知, 又平芳春, 渡邊永治, 奈良岡佑南, 笛 将悟, 大塚卓也, 池田啓一, 第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会 合同大会, 平成22年12月

NGF による PC12細胞の分化誘導時の6-ニトロトリプトファン含有タンパク質の検出, 川崎広明, 重永綾子, 松本孝, 馬場猛, 池田啓一, 高森建二, 小川秀興, 山倉文幸, 第32回日本トリプトファン研究会学術集会, 平成22年12月

抗6-ニトロトリプトファン抗体を用いた神経疾患モデル細胞からの新規ニトロ化修飾タンパク質の探索, 川崎広明, 池田啓一, 重永綾子, 馬場 猛, 小川秀興, 高森建二, 山倉文幸 日本ヒトプロテオーム機構第8回大会・第6回臨床プロテオーム研究会・連合大会, 平成22年7月

#### 〈国際学会〉

Generation of 6-nitrotryptophan residues in the proteins of PC12 cell lysate by a peroxynitrite treatment., H. Kawasaki, K. Ikeda, A. Shigenaga, T. Baba, H. Ogawa, K. Takamori, F. Yamakura The 6<sup>th</sup> International Conference on the Biology, Chemistry, and Therapeutic Applications of Nitric Oxide, 平成22年6月